



2016年5月10日

2016年3月期
決算説明会

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとしします。

連結業績

連結業績

(億円)

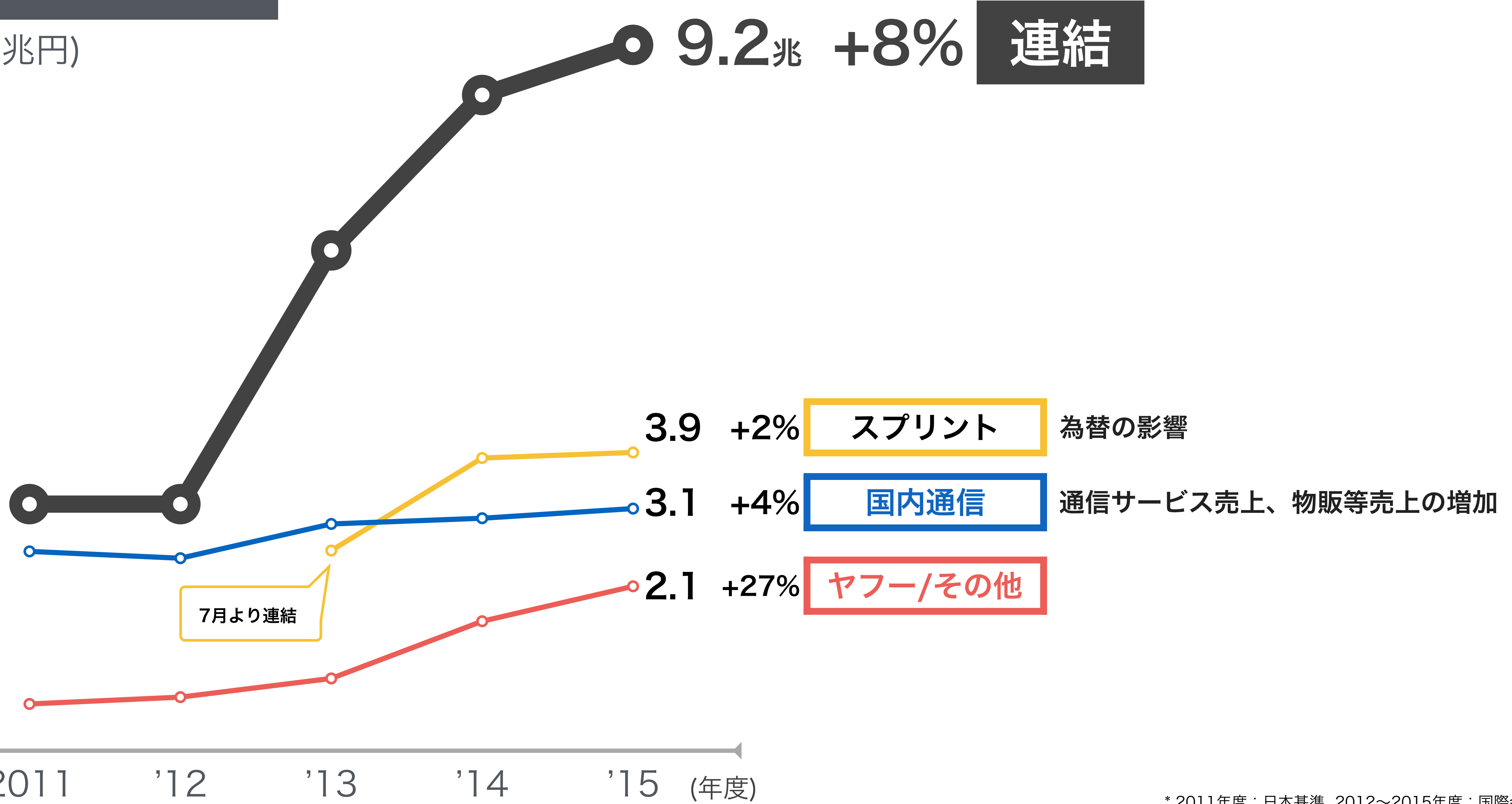
	2014年度	2015年度	増減額	増減率
売上高	85,041	91,535	+6,494	+8%
調整後 EBITDA	20,416	24,389	+3,973	+19%
営業利益	9,187	9,995	+808	+9%
当期純利益	6,684	4,742	-1,942	-29%
アリババ上場 一時益除く*	3,849	4,742	+893	+23%

* 一時益：アリババに係る持分変動利益影響 + アリババ転換優先株(CPS)のIFRS調整

(注) ガンホーによる損益は非継続事業からの純損益に分類(2014年度、2015年4月1日～6月1日まで)
当期純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

売上高

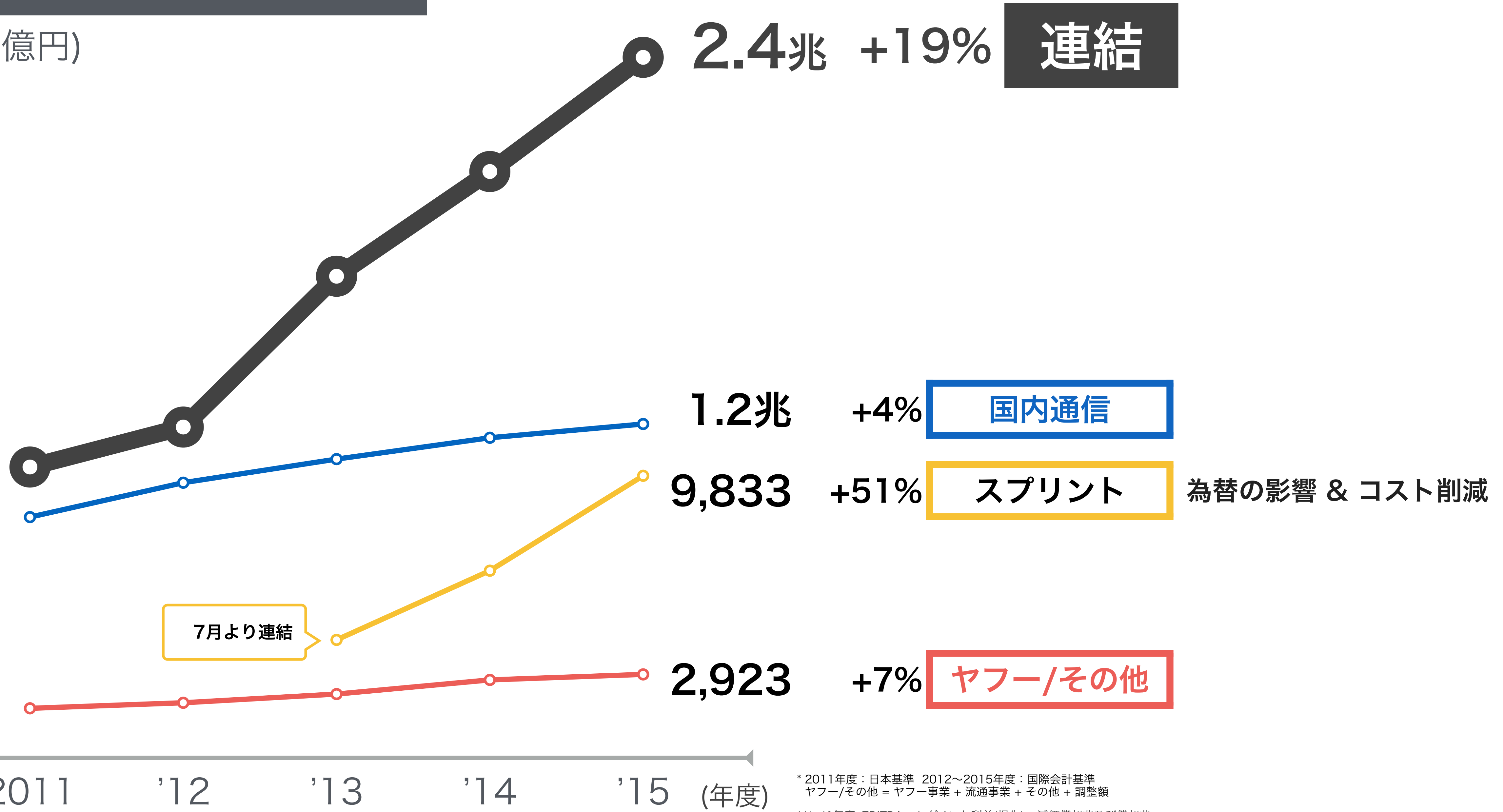
(兆円)



* 2011年度：日本基準 2012～2015年度：国際会計基準
ヤフー/その他 = ヤフー事業 + 流通事業 + その他 + 調整額 4

調整後EBITDA

(億円)

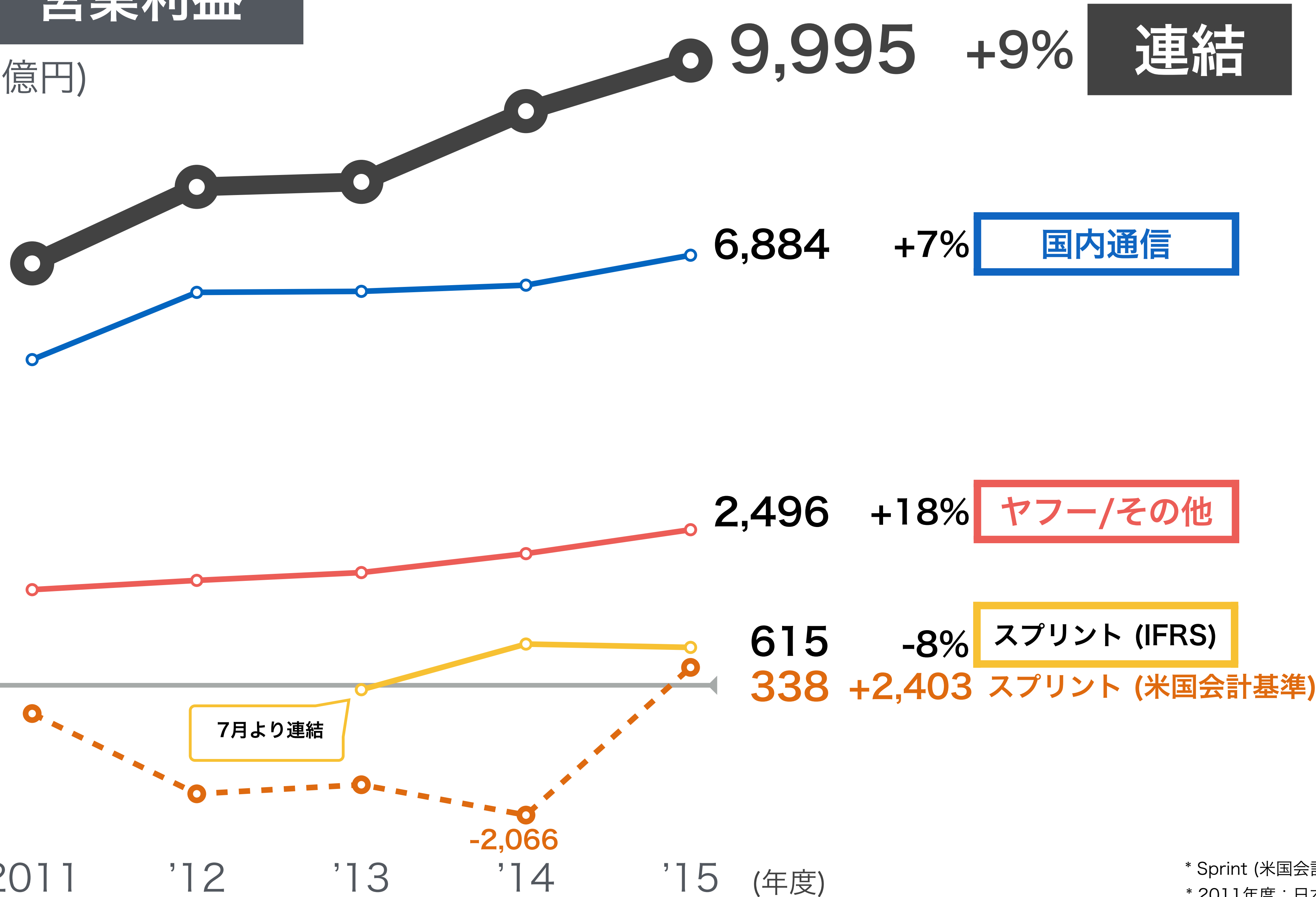


* 2011年度：日本基準 2012～2015年度：国際会計基準
ヤフー/その他 = ヤフー事業 + 流通事業 + その他 + 調整額

*11～13年度: EBITDA = セグメント利益(損失) + 減価償却費及び償却費
14～15年度: 調整後EBITDA = セグメント利益(損失) + 減価償却費及び償却費 - 企業結合に伴う再測定による利益 ± その他の営業損益

営業利益

(億円)



* Sprint (米国会計基準): 1ドル = 109円で換算

* 2011年度: 日本基準 2012~2015年度: 国際会計基準

ヤフー/その他 = ヤフー事業 + 流通事業 + その他 + 調整額

ポートフォリオ

事業資産

投資資産

ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク
国内通信事業

スプリント

ヤフー

その他

営業利益

億円



- 前期比7%増
- 売上は安定推移
- コスト削減が奏功

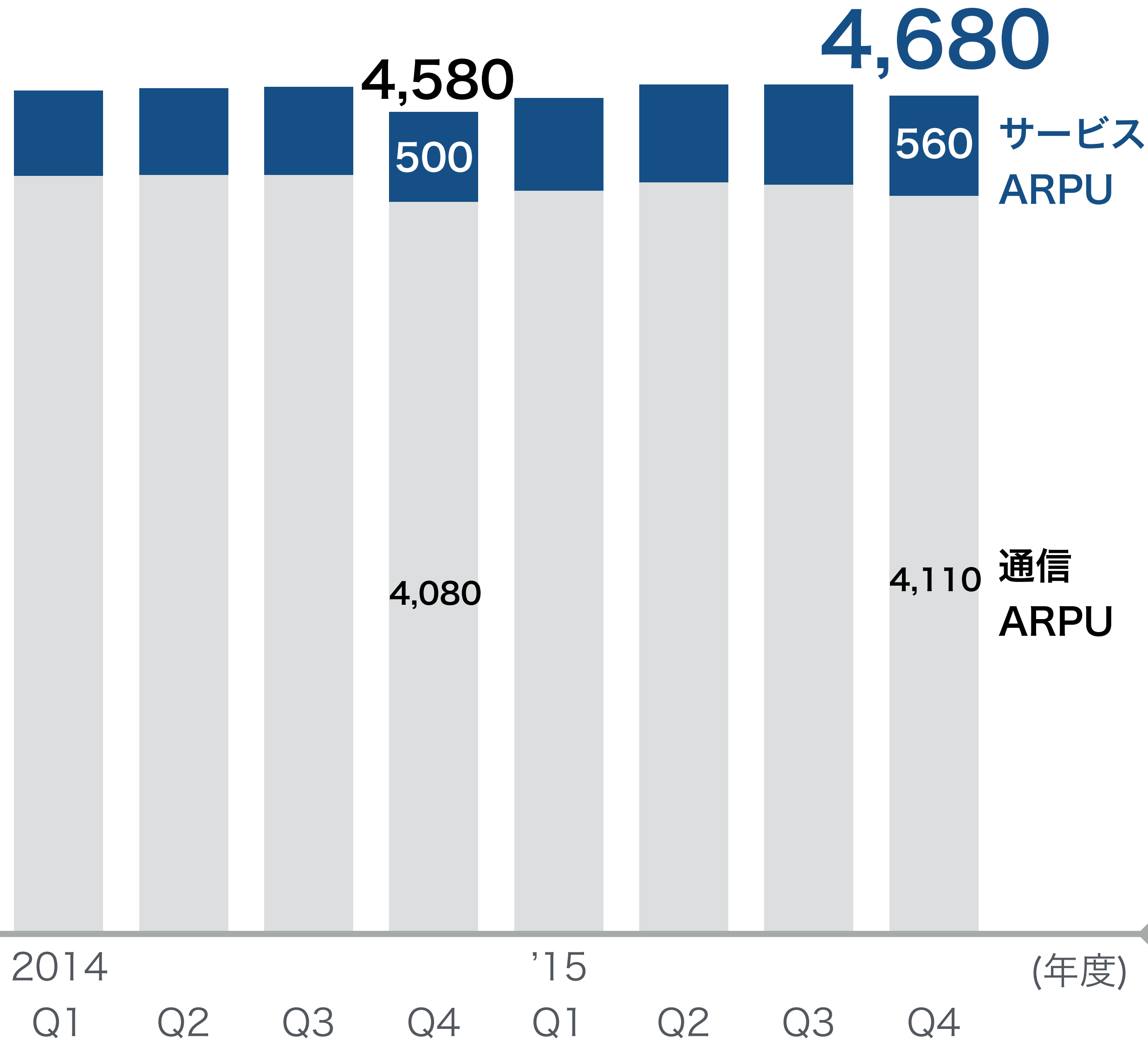
*2011年度：日本基準 2012～2015年度：国際会計基準

2014年度以降：国内通信事業

2013年度以前：移動通信事業 + 固定通信事業 + ブロードバンド・インフラ事業 9

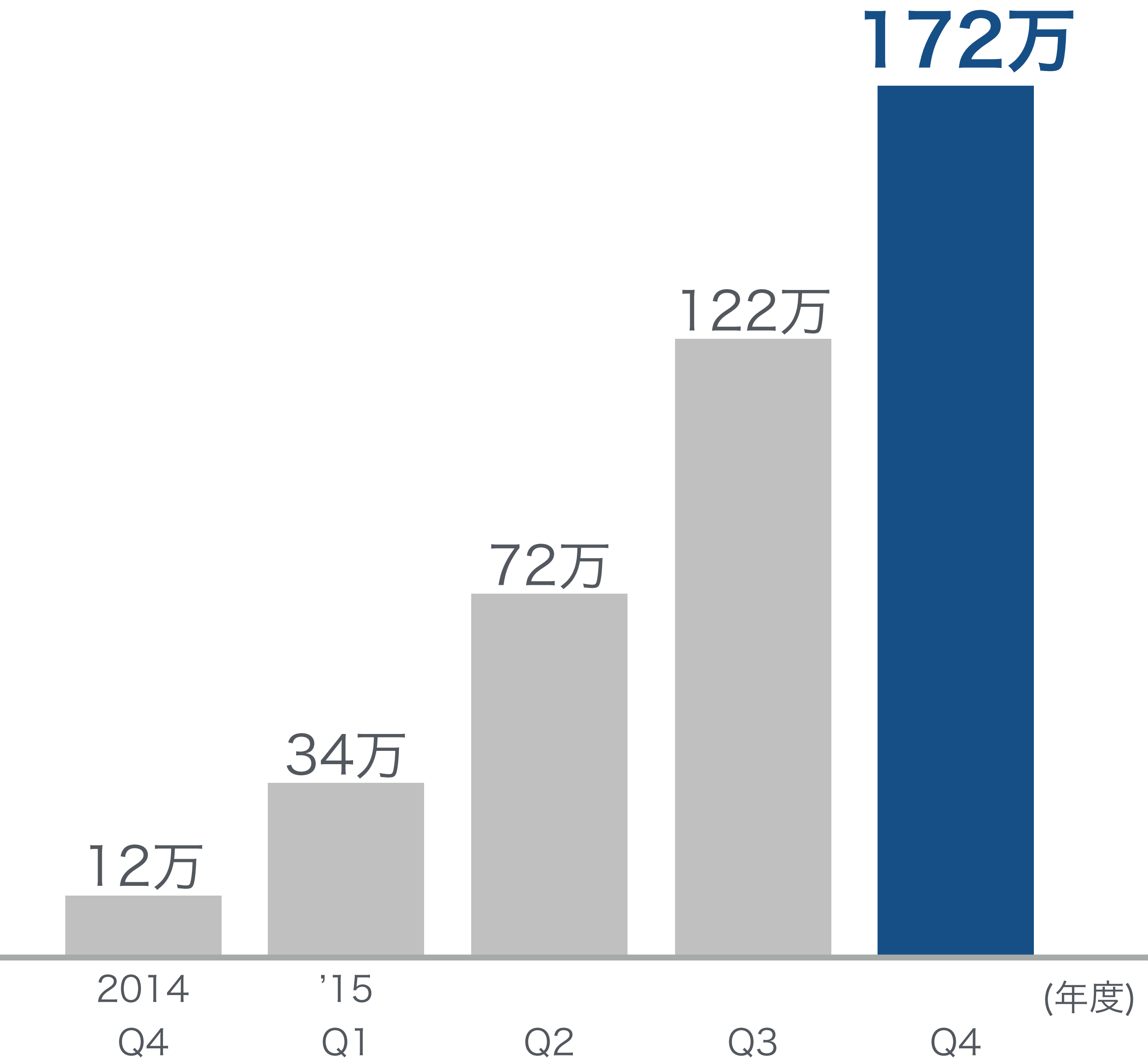
ARPU (主要回線)

円



- 前期比2%増

- サービスARPUが増加



- 170万契約を突破

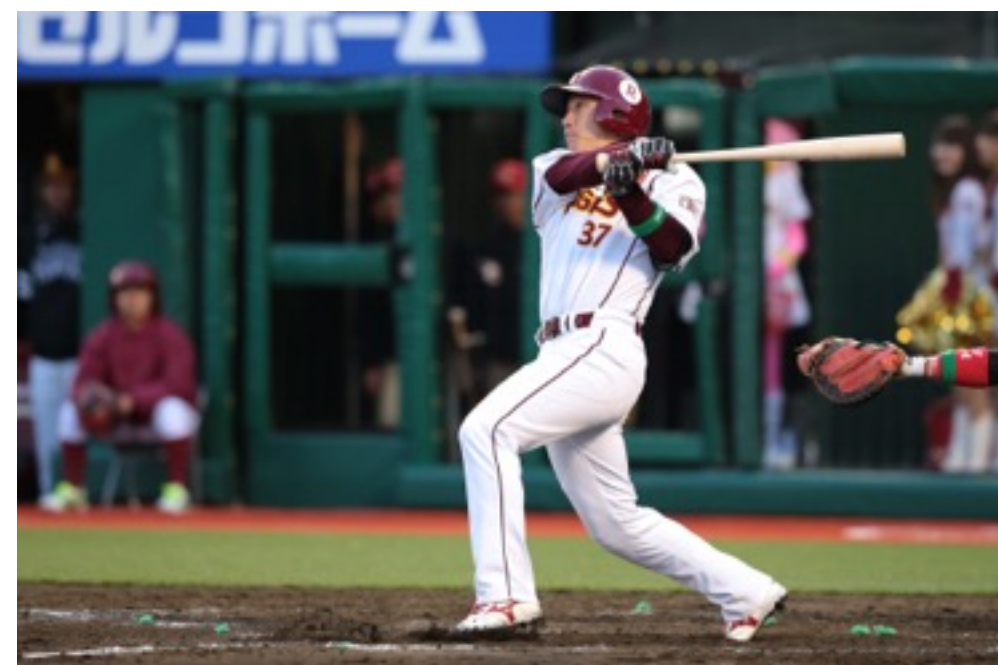
- バンドルサービスで
解約率改善へ

SoftBank 光

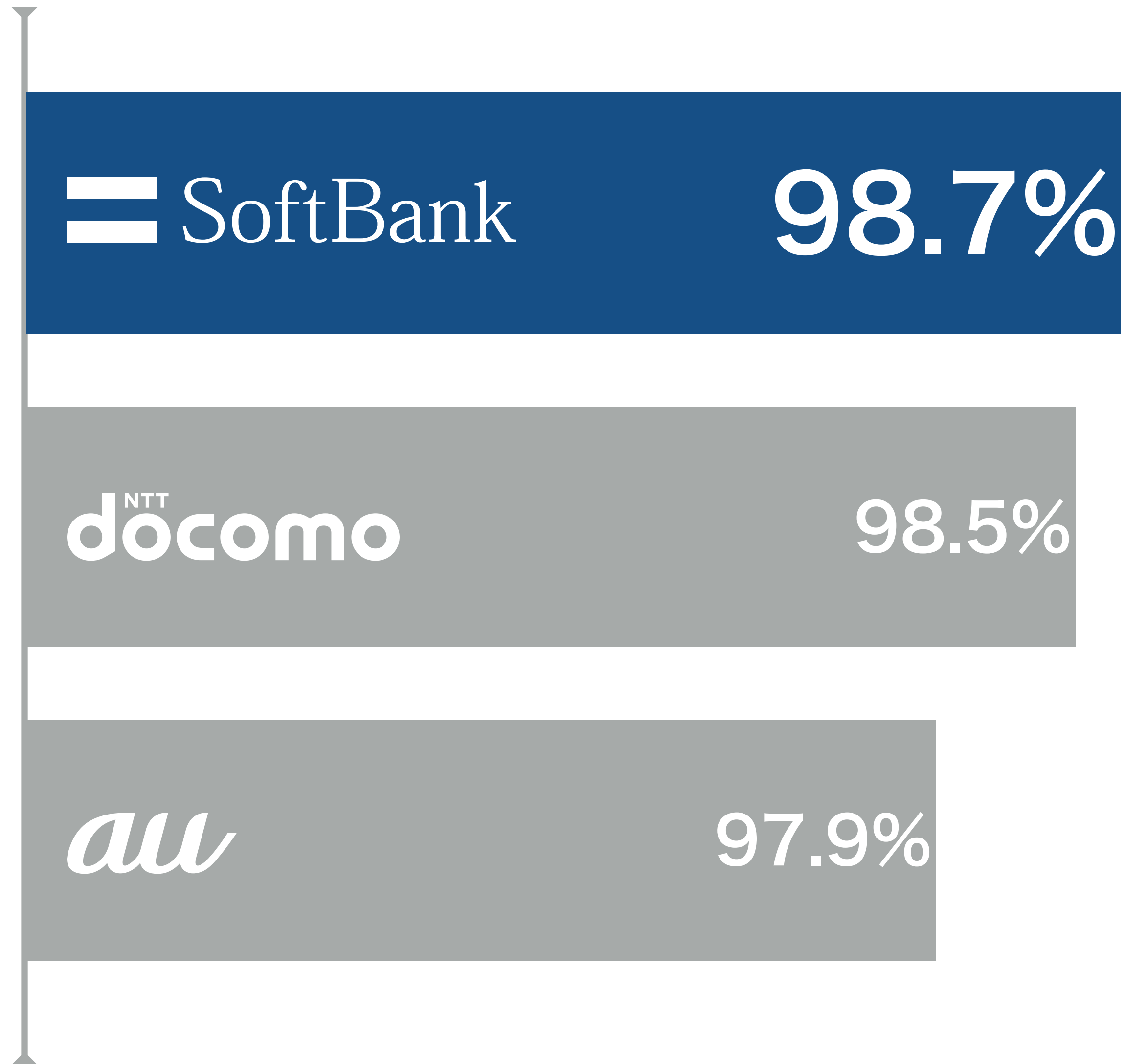
新たなスポーツコンテンツ (3/17開始)



スポナビライブ
Sportsnavi LIVE



プロ野球の生中継をスマホへ配信
(12球団中10球団の主催試合)



- 高水準を維持
- 効率的な設備投資を継続

フリーキャッシュフロー

円

4,022億

1,133億

2014

2015

(年度)

- ・ FCFを創出へ
- ・ EBITDAが堅調に推移

ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク
国内通信事業

スプリント

ヤフー

その他

反転への戦略

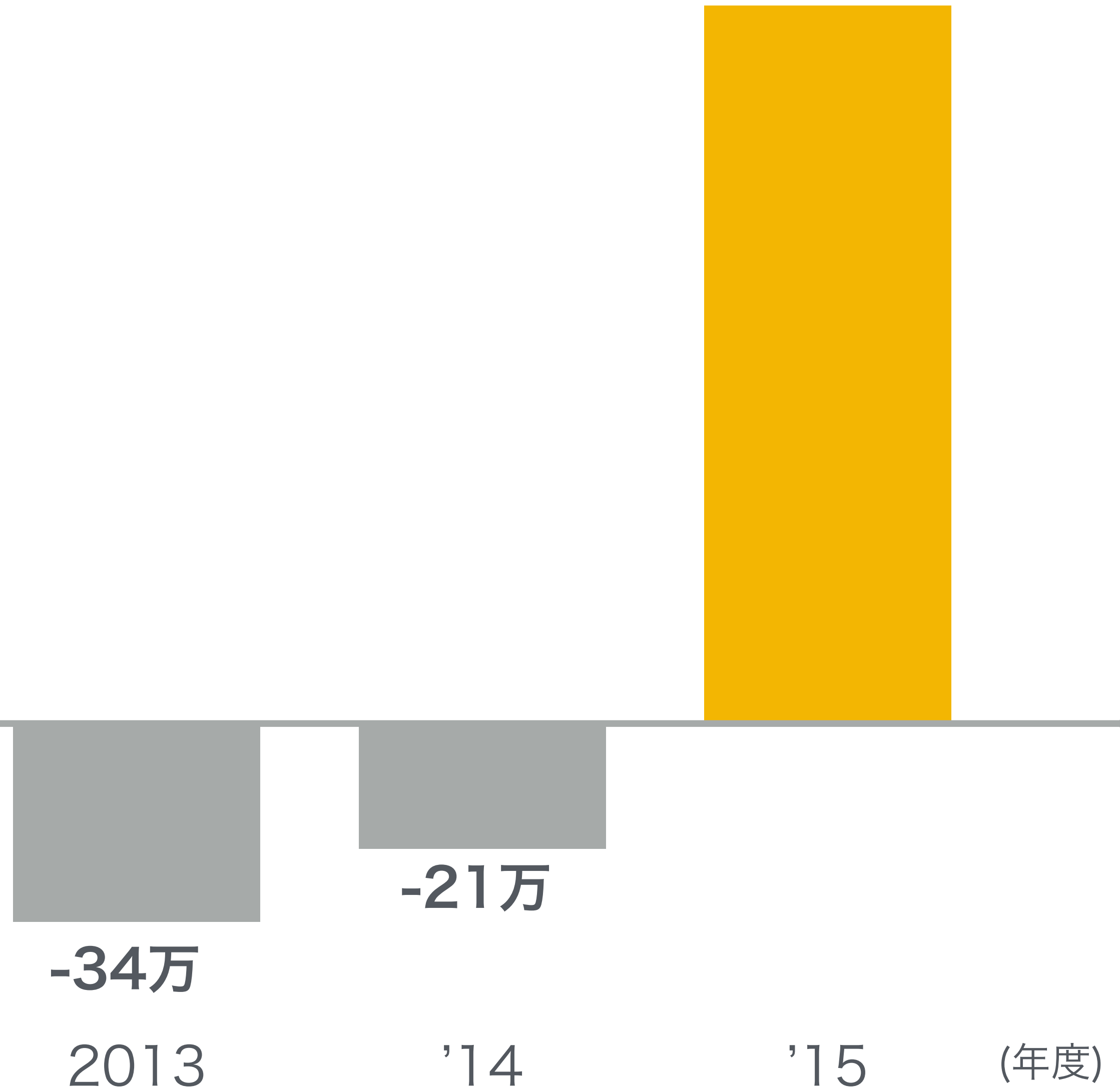
純増の改善
売上の安定化

OPEX削減

多様な調達手段

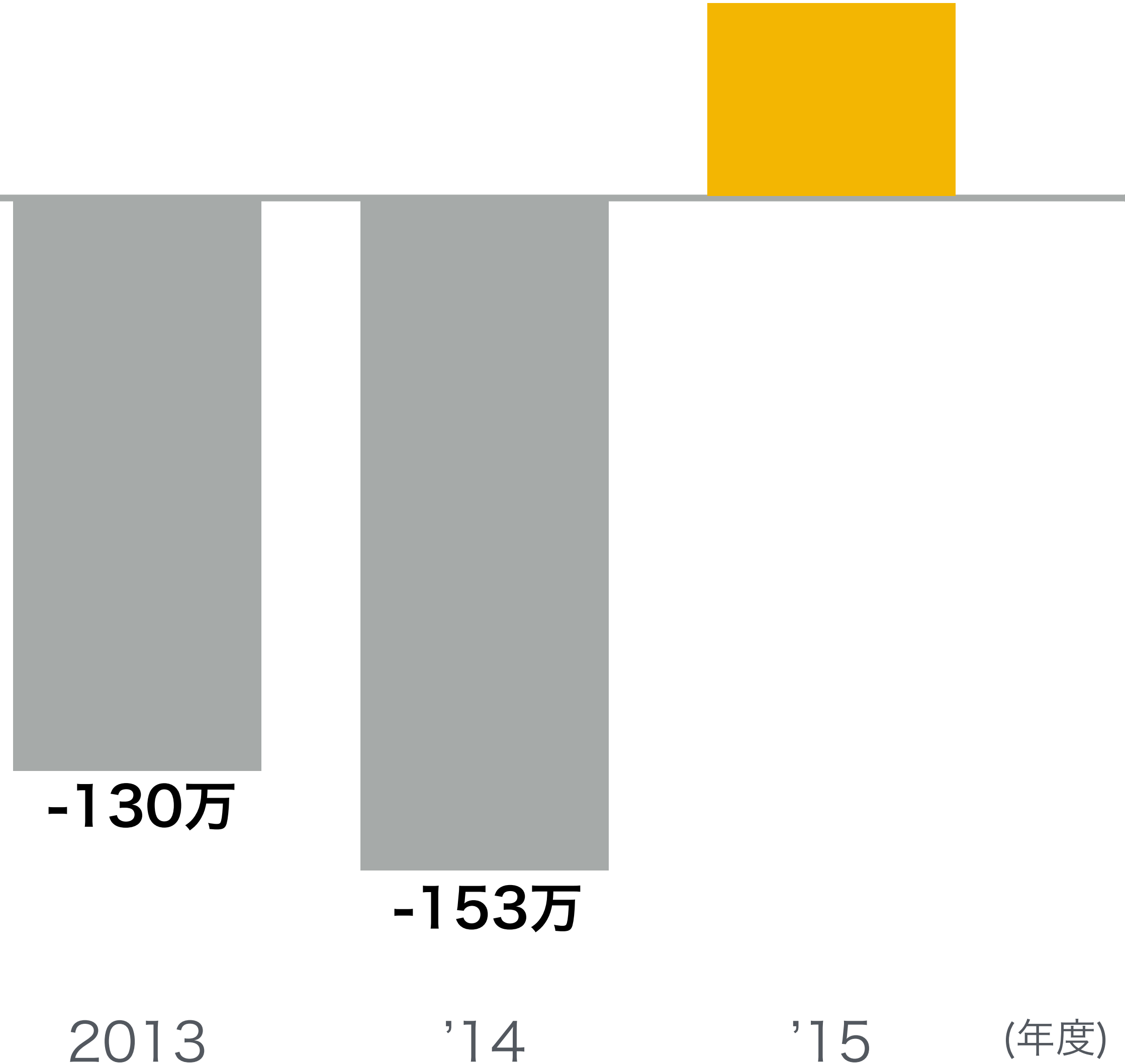
ネットワーク改善

125万



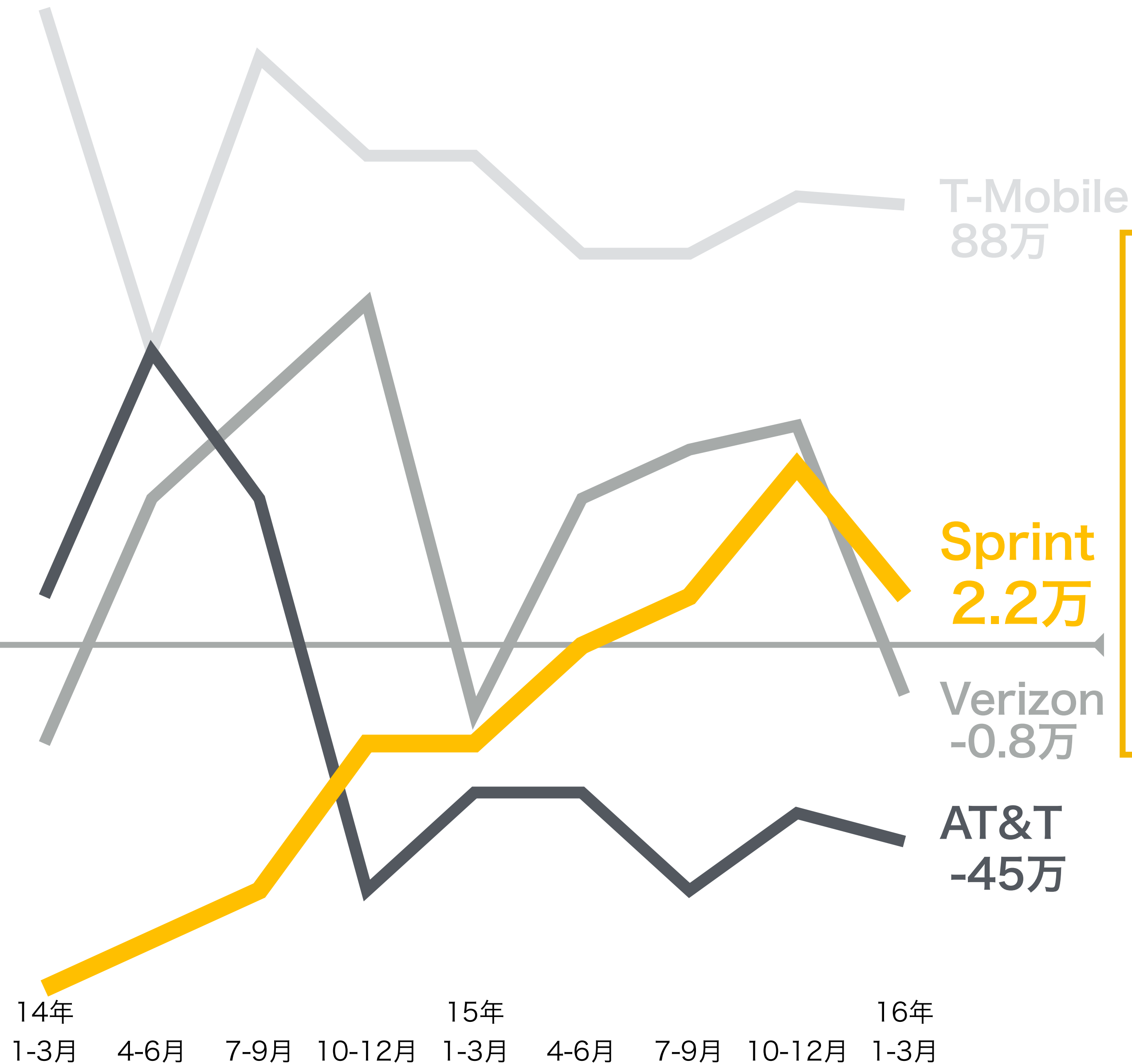
- 約150万改善 (前年比)
- 過去3年で最高

44万

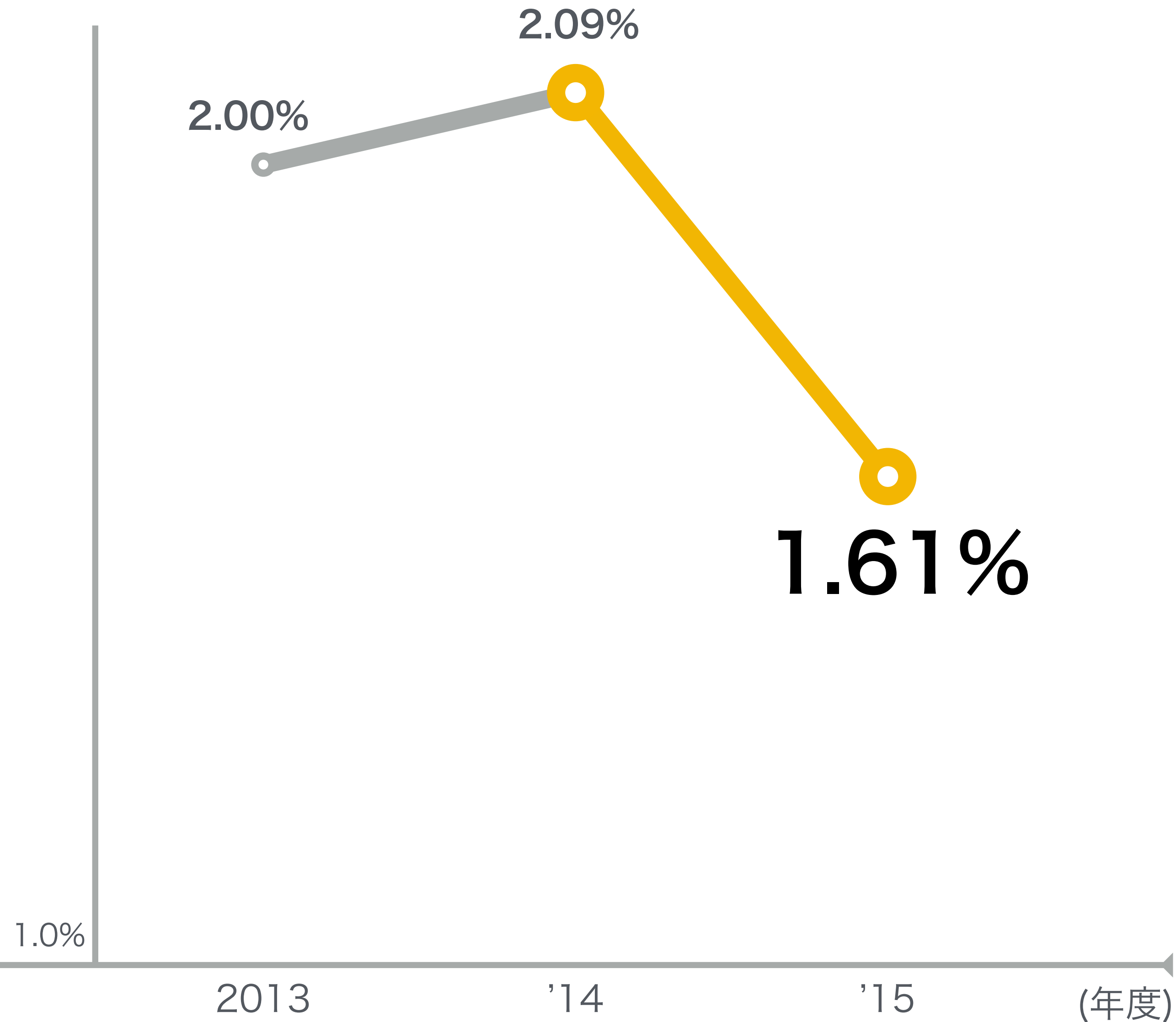


- 約200万改善 (前年比)
- 過去3年で最高

純増 (ポストペイド携帯電話)



- VerizonとAT&Tを逆転 (同時はSprint史上初)
- 6四半期連続で改善 (前年比)

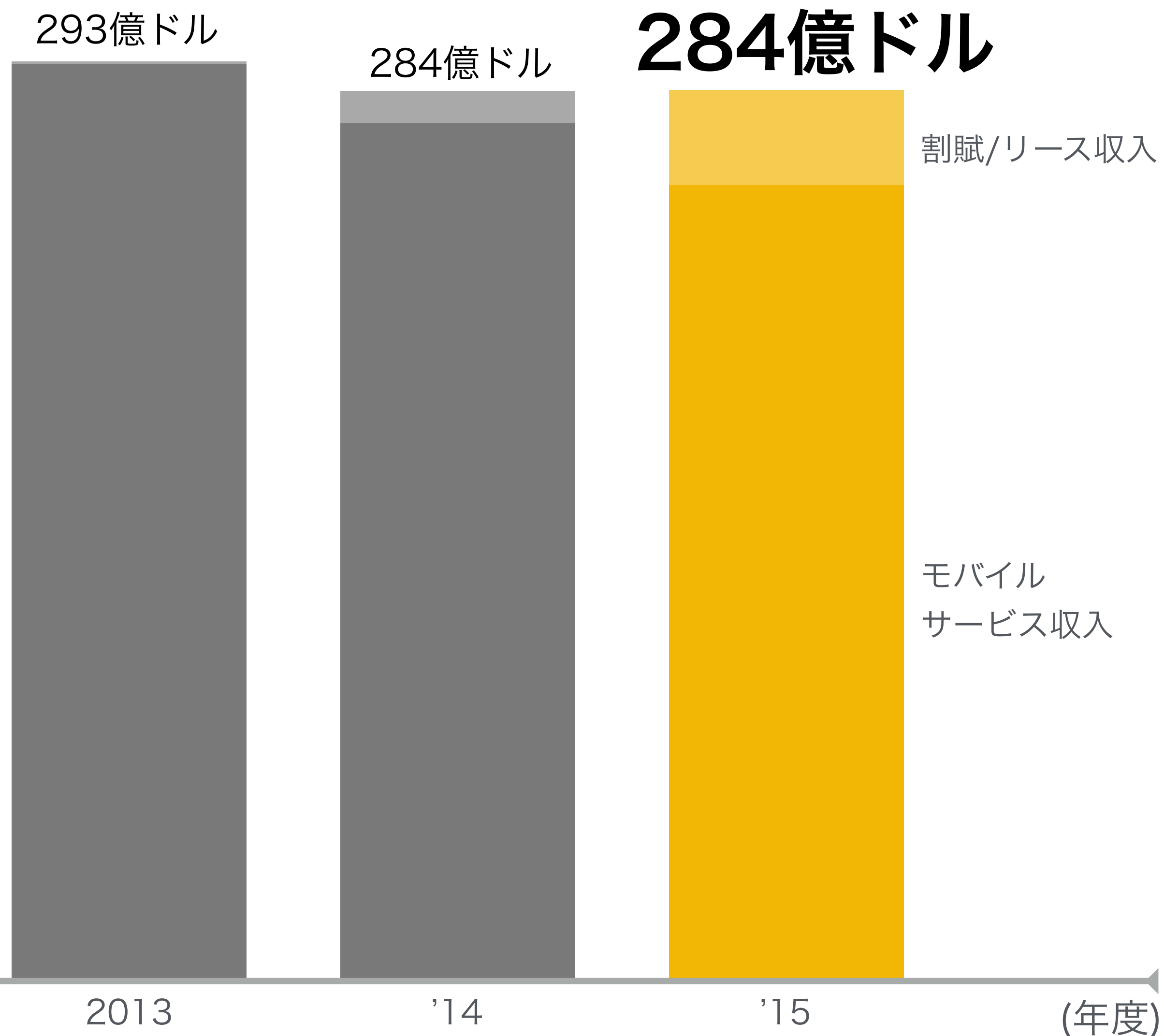


- 年度ベースで史上最小
- 劇的に改善
(前年比48bp改善)

売上高 (モバイルサービス収入 + 割賦/リース収入)



米国会計基準

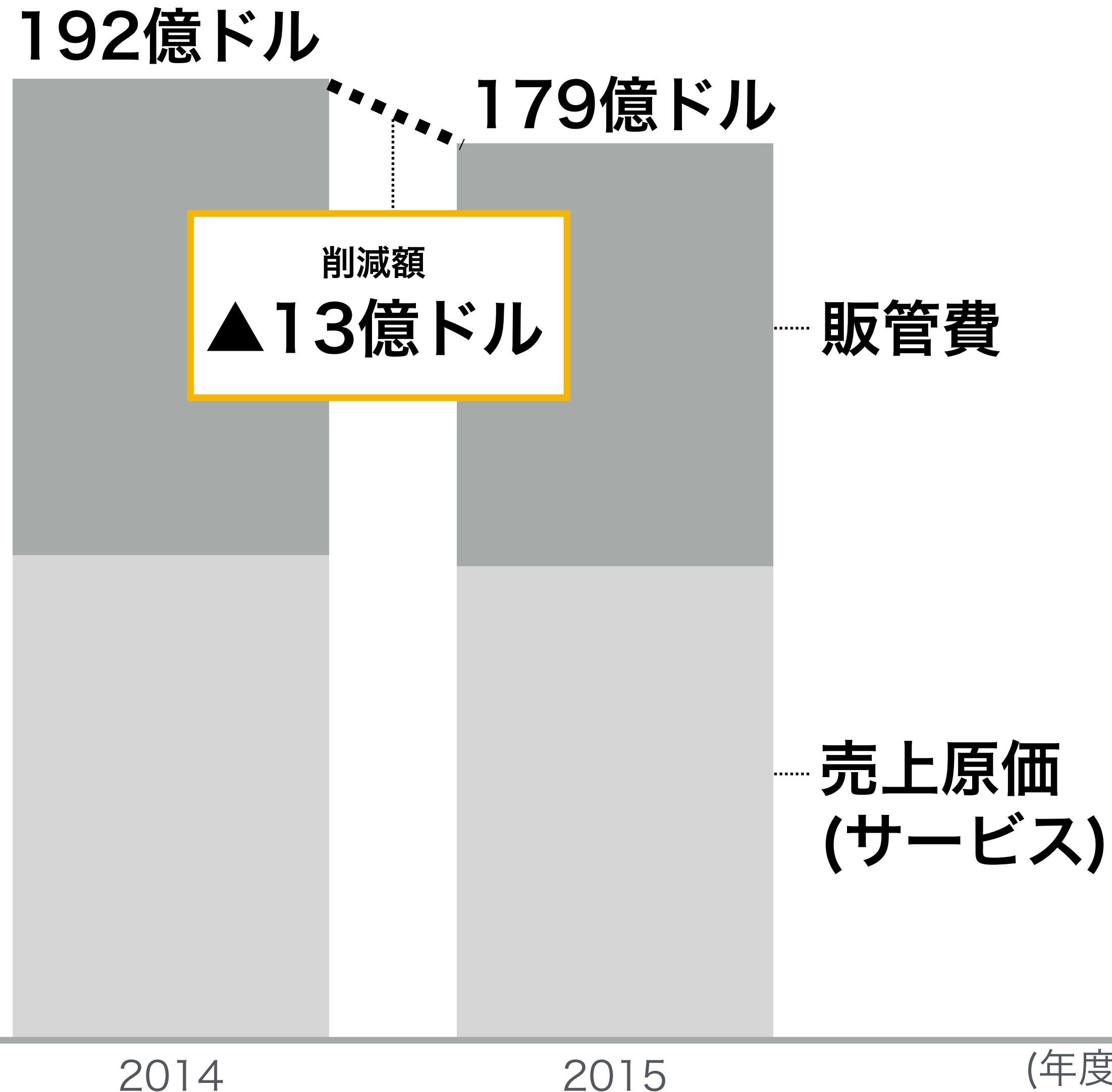


- 売上が安定化
- 前年比で微増

コスト削減



米国会計基準



- ・ 1年で13億ドル削減

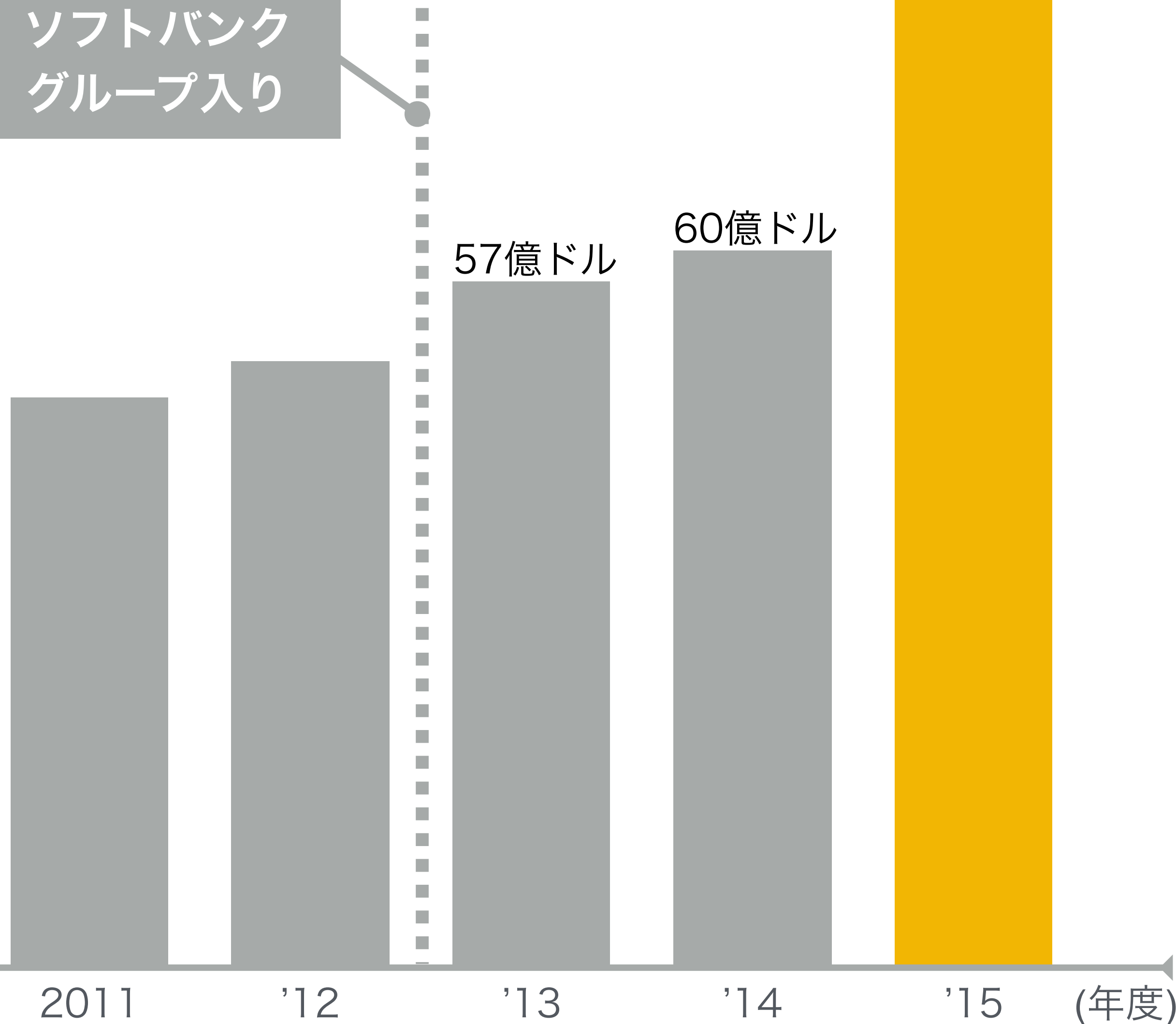
調整後EBITDA



米国会計基準

81億ドル

ソフトバンク
グループ入り



- 20億ドル超増 (前年比)
- 36%増 (前年比)

営業利益



米国会計基準

ソフトバンク
グループ入り

3億ドル

-15億ドル

-19億ドル

2011 '12 '13 '14 '15 (年度)

- ・ 過去9年で初の黒字 (通期)

手元流動性



米国会計基準

億ドル

140~160

調達余地
20~40

端末リース会社
(見込み)

12

ベンダーファイナンス

直近の調達額
53

NW機器等を
活用した資金調達
+ブリッジローン
+ 端末リース会社

直近の手元流動性

110億ドル

51

その他の返済額
(端末リース支払等)

現金 + リボルバー額
+ 債権流動化枠

2015年度末
57

社債、借入返済額

33

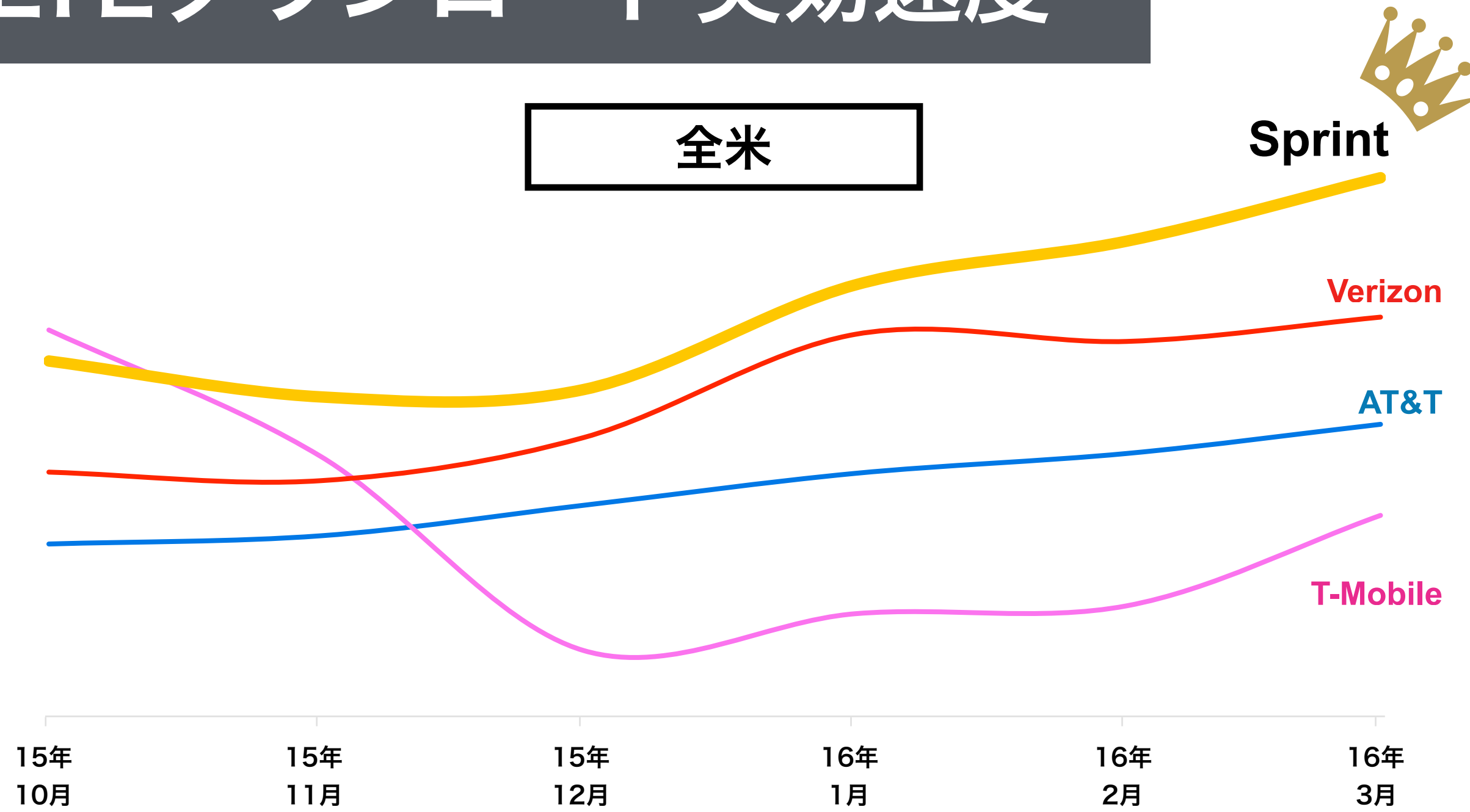
手元流動性

返済予定額
(16年度)

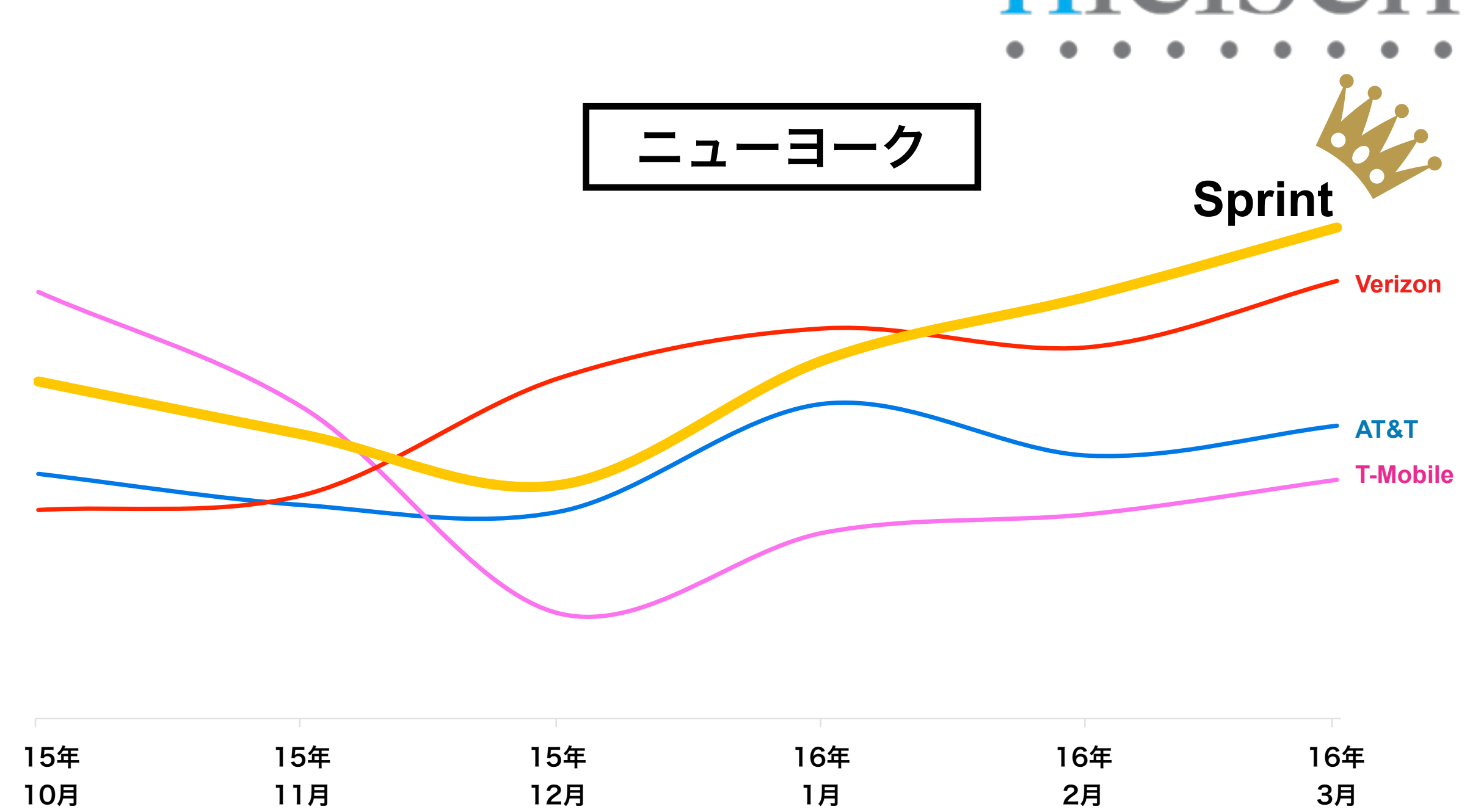
- 潤沢な手元流動性を確保
- 16年度返済予定の借入は
借り換えず償還へ

LTEダウンロード実効速度

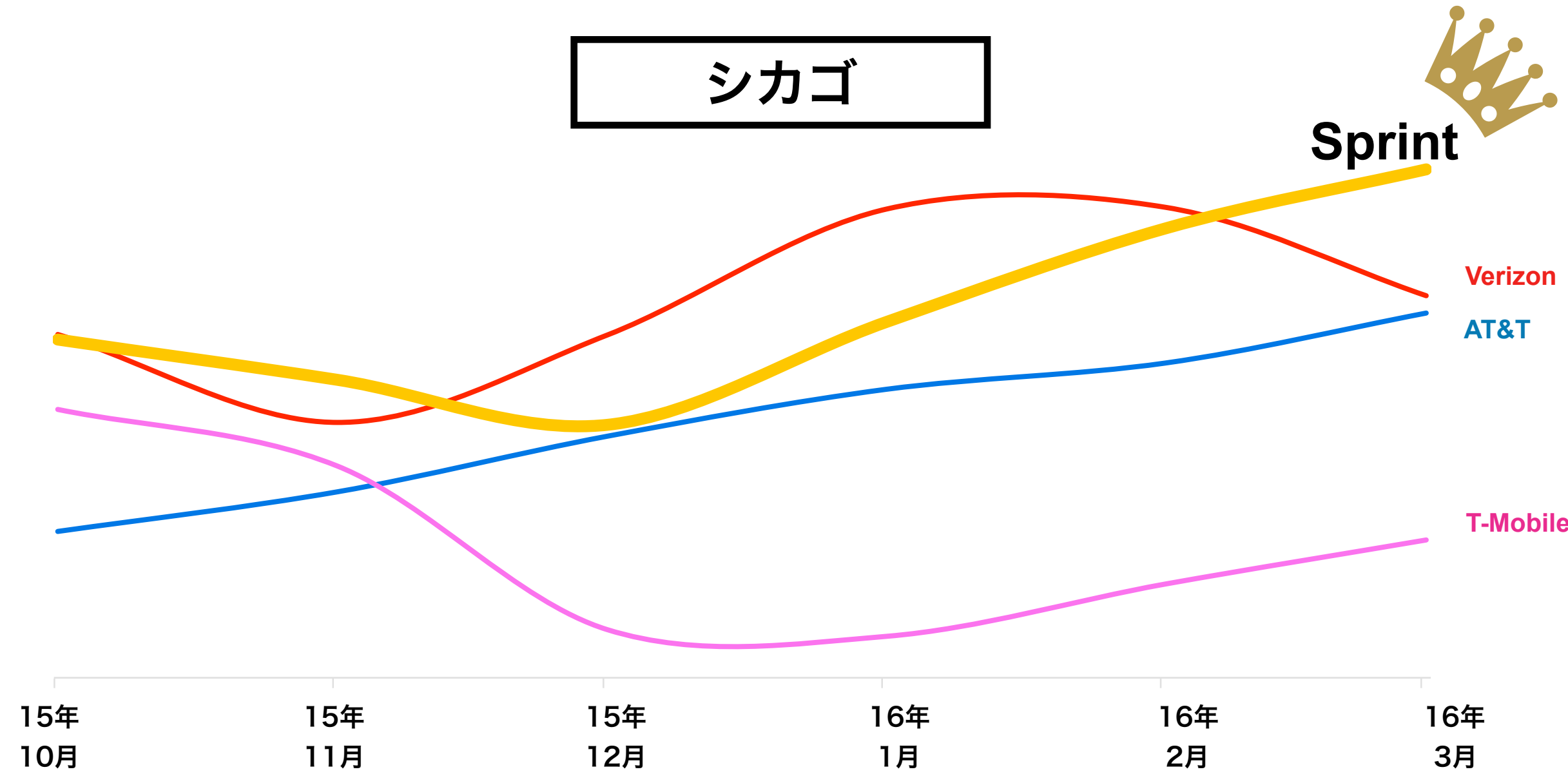
全米



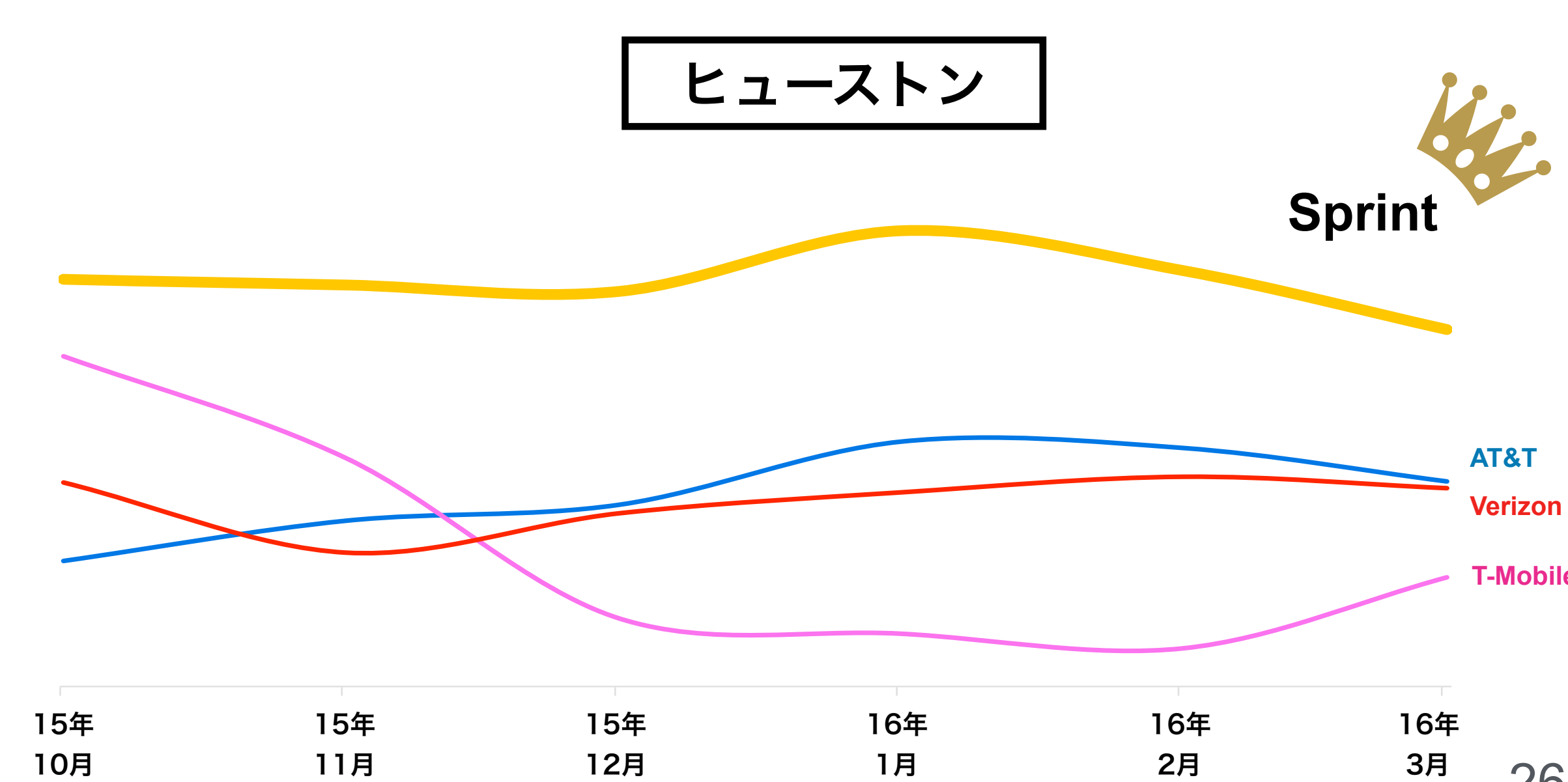
ニューヨーク



シカゴ



ヒューストン

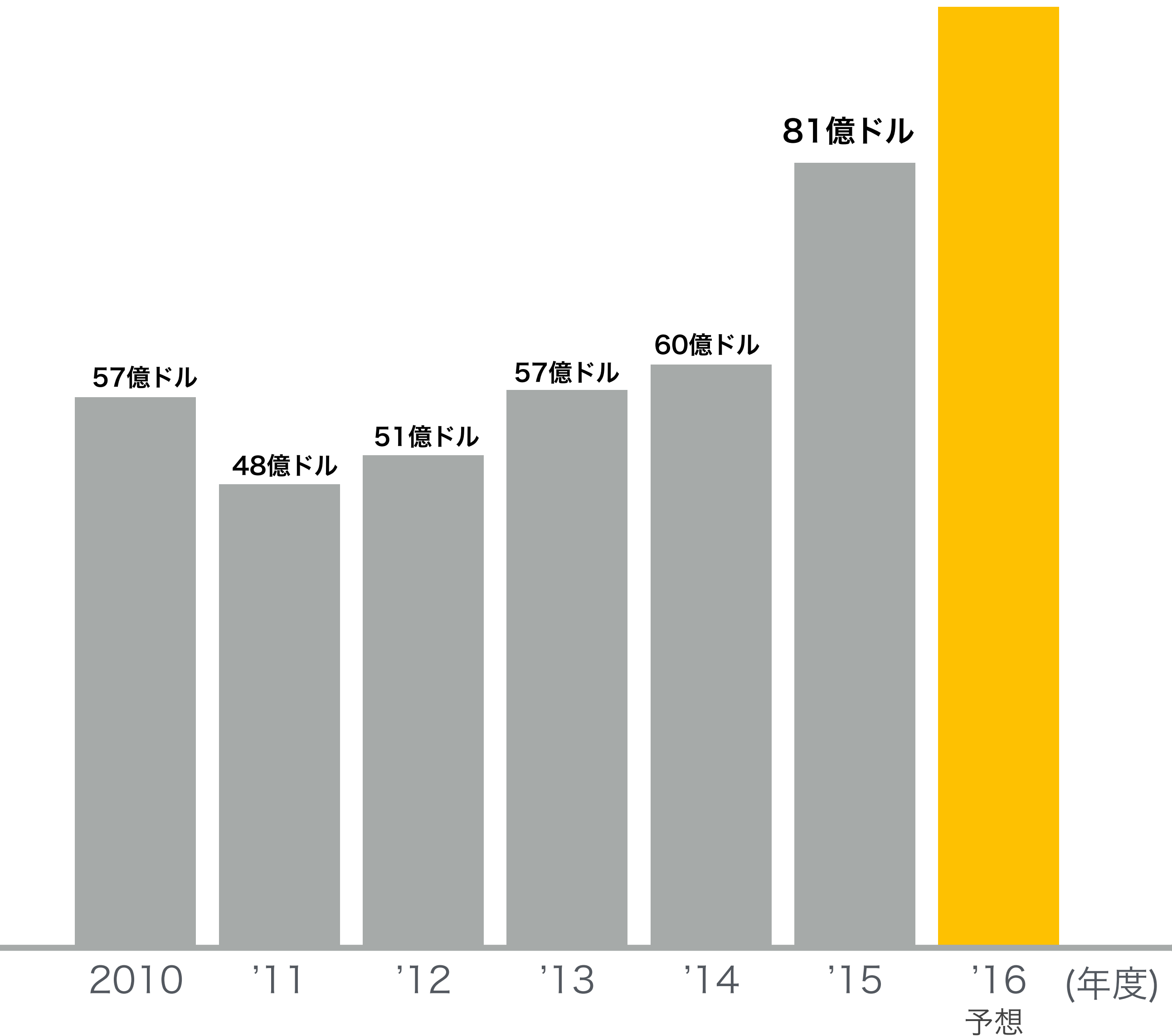


調整後EBITDA



米国会計基準

95~100億ドル



- 2015年度予想を達成
- トランスフォーメーションを加速

1

調整後EBITDA

95-100億ドル

2

営業利益

10-15億ドル

3

キャッシュCAPEX

約30億ドル

4

調整後FCF

ゼロ近辺

キャッシュCAPEX: 間接販売チャンネルを通じて提供されるリース携帯端末の影響を除く

調整後FCF: 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー (短期投資除く) + 将来リース債権の売却による調達と返済の純額

ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク
国内通信事業

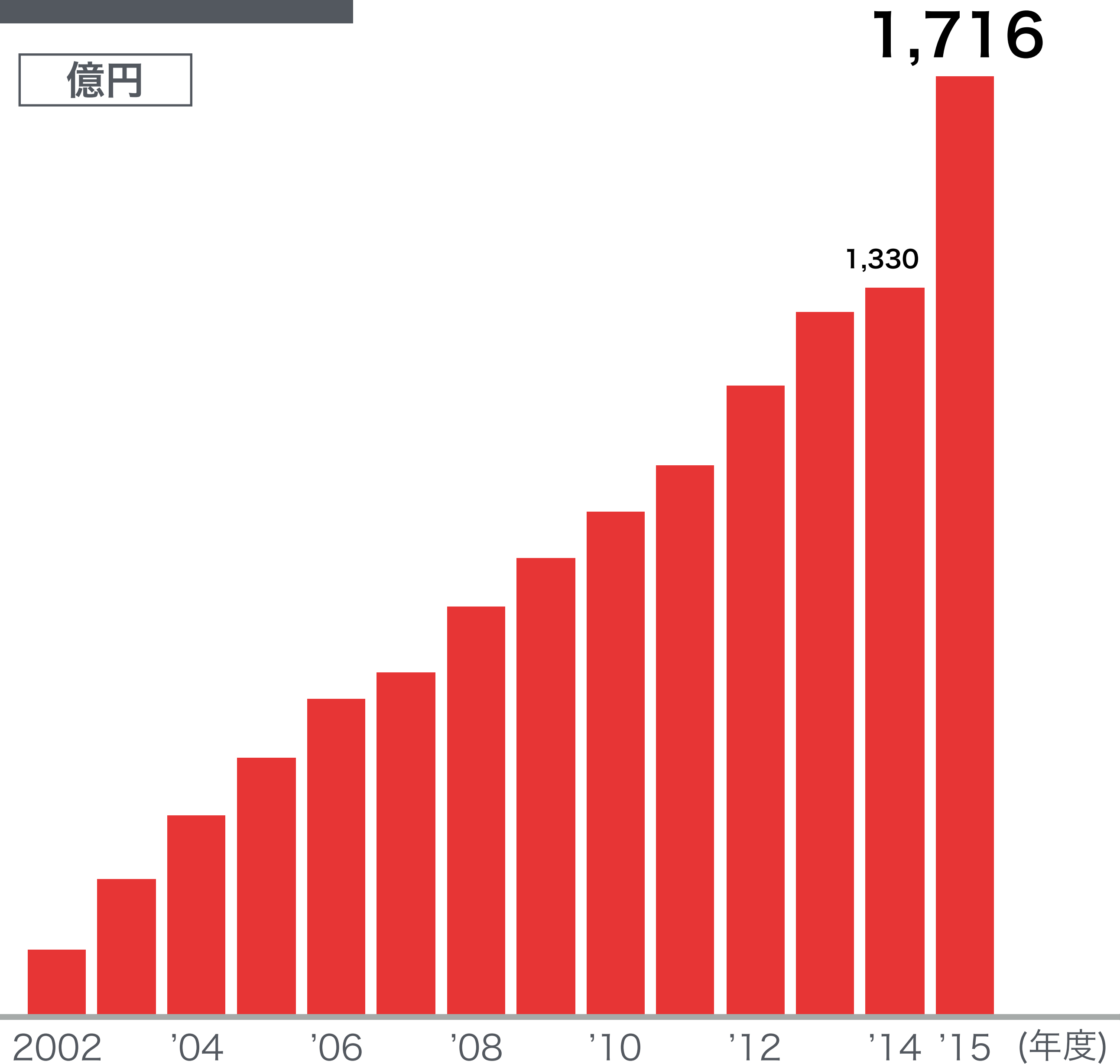
スプリント

ヤフー

その他

当期利益

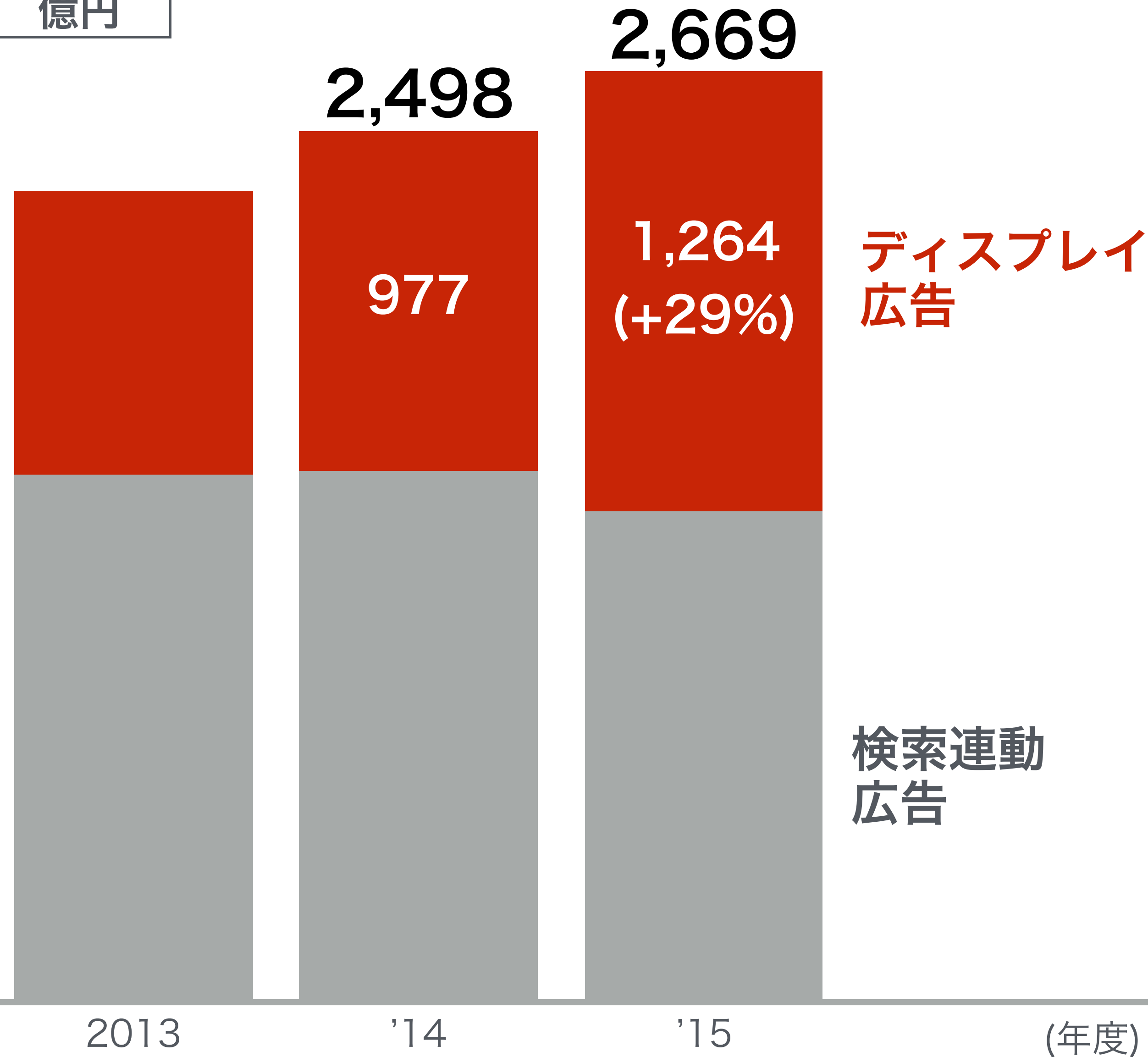
億円



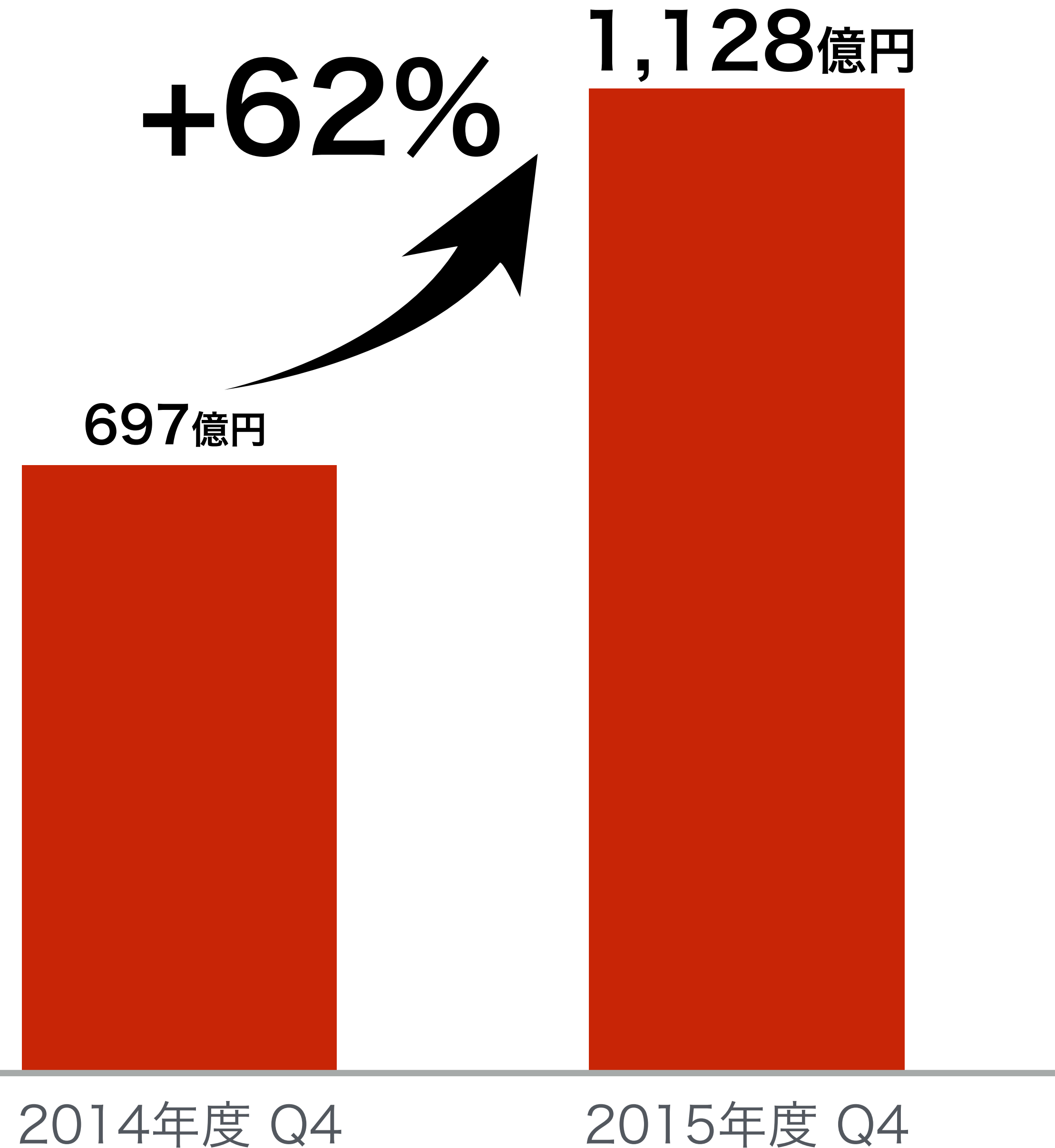
• 19期連続増益

広告収入

億円



- ディ스플레이広告が成長
- Yahoo!ディスプレイアドネットワークが貢献



- 過去最高の成長率
- 初の1,000億円超え
- 商品数が国内最大

(注1) 過去最高：イーコマース革命発表以降

(注2) 初の1,000億円超え：第4四半期として

(注3) 国内最大：「Yahoo! ショッピング」のショッピング商品数。Yahoo! JAPAN調べ

※Yahoo!ショッピング、LOHACOの取扱高

ポートフォリオ

事業資産

投資資産

大きな投資機会が到来

- 1 新興市場で**世界的な起業家が誕生**
- 2 全く新しいビジネスが**モバイルとクラウドで可能に**
- 3 ITインフラによって抜本的な**変化が実現**
- 4 画期的な技術: **AI、自動運転、VR/AR、IoT**
- 5 テクノロジーにより**全産業が変革へ**

非上場テクノロジー企業への投資(現状)

公開市場：高い価格変動率

株式による資金調達が空前の規模に

IPOが減少し、実績は低迷

非上場企業の評価が実力と乖離

企業評価額：据え置きまたは下方修正

利益重視 > 規模の拡大

有利なポジション

信念を持ち大規模に投資

長期的なパートナー

有利な資金調達手段

グローバルな視点

事業上のシナジー

ポートフォリオ

イーコマース tokopedia oyo

Alibaba Group 阿里巴巴 snapdeal coupang

トランスポートーション

OLA Grab 滴滴
滴滴一下 美好出行

ゲーム&メディア

GungHo Online Entertainment, Inc. SUPERCHELL hike
MESSENGER

フィンテック

SoFi

投資資産

イーコマース



snapdeal

cou pang

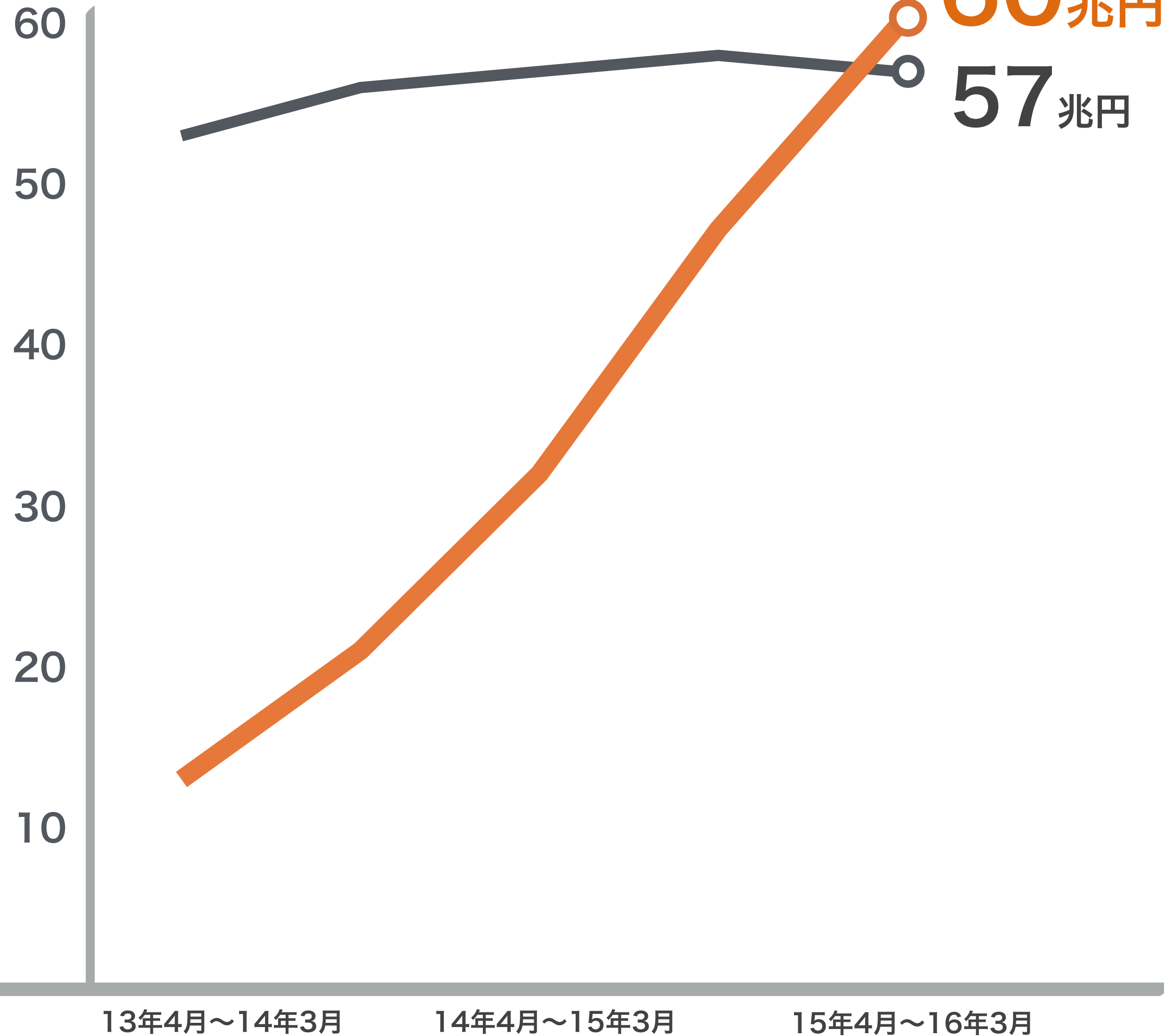
tokopedia



取扱高



兆円



(3.1兆元)

60兆円

57兆円



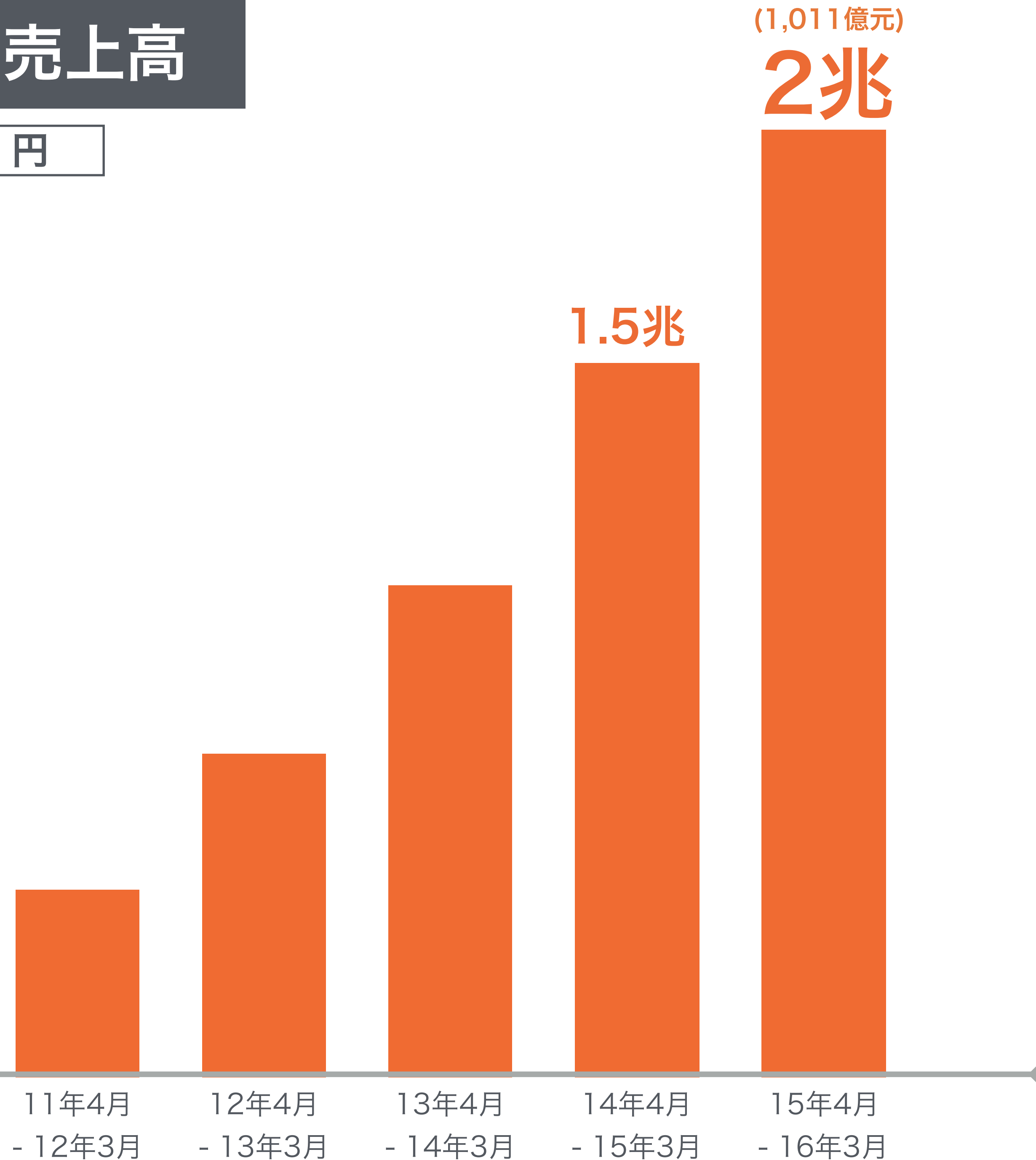
Walmart ✨ (net sales)

- 年度ベースで初の逆転
- 小売として世界最大
- 初めて3兆元を突破

売上高

円

米国会計基準



- 前期比33%増
- 高成長の中国ECが牽引
- 1,000億元を突破

モバイル収入

円

米国会計基準

9,737億

3,451億

12年4月
- 13年3月

13年4月
- 14年3月

14年4月
- 15年3月

15年4月
- 16年3月

- 前期比2.8倍に増加
- モバイルMAUが4.1億人に
(前期比42%増)
- 1人当たりモバイル売上が倍増

MAU: Monthly Active Users (月間稼働ユーザー)

(出所) Alibaba 開示資料を基に当社作成 1ドル = 120円、6.2036RMBで換算

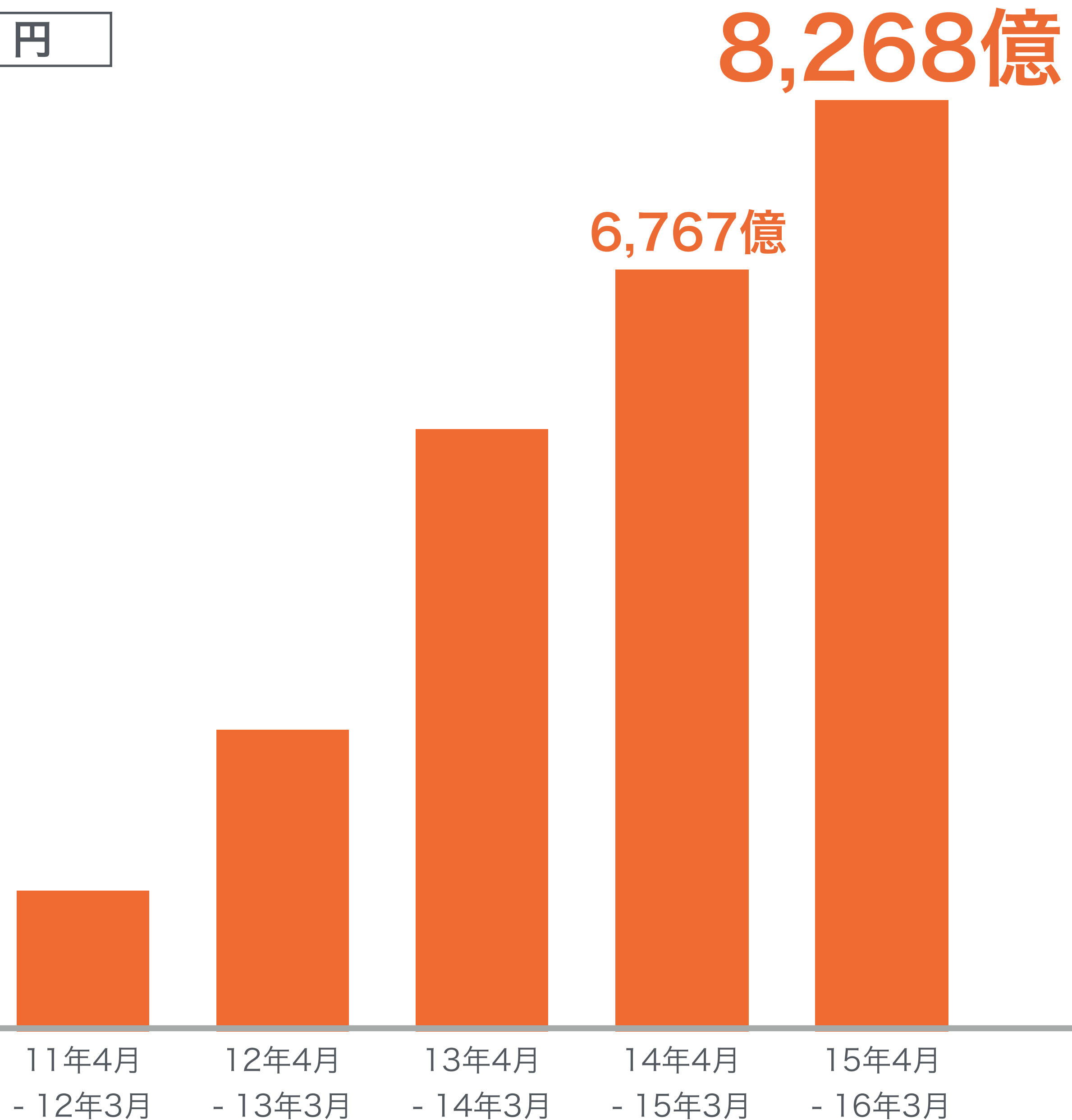
純利益(税引後)

円

米国会計基準

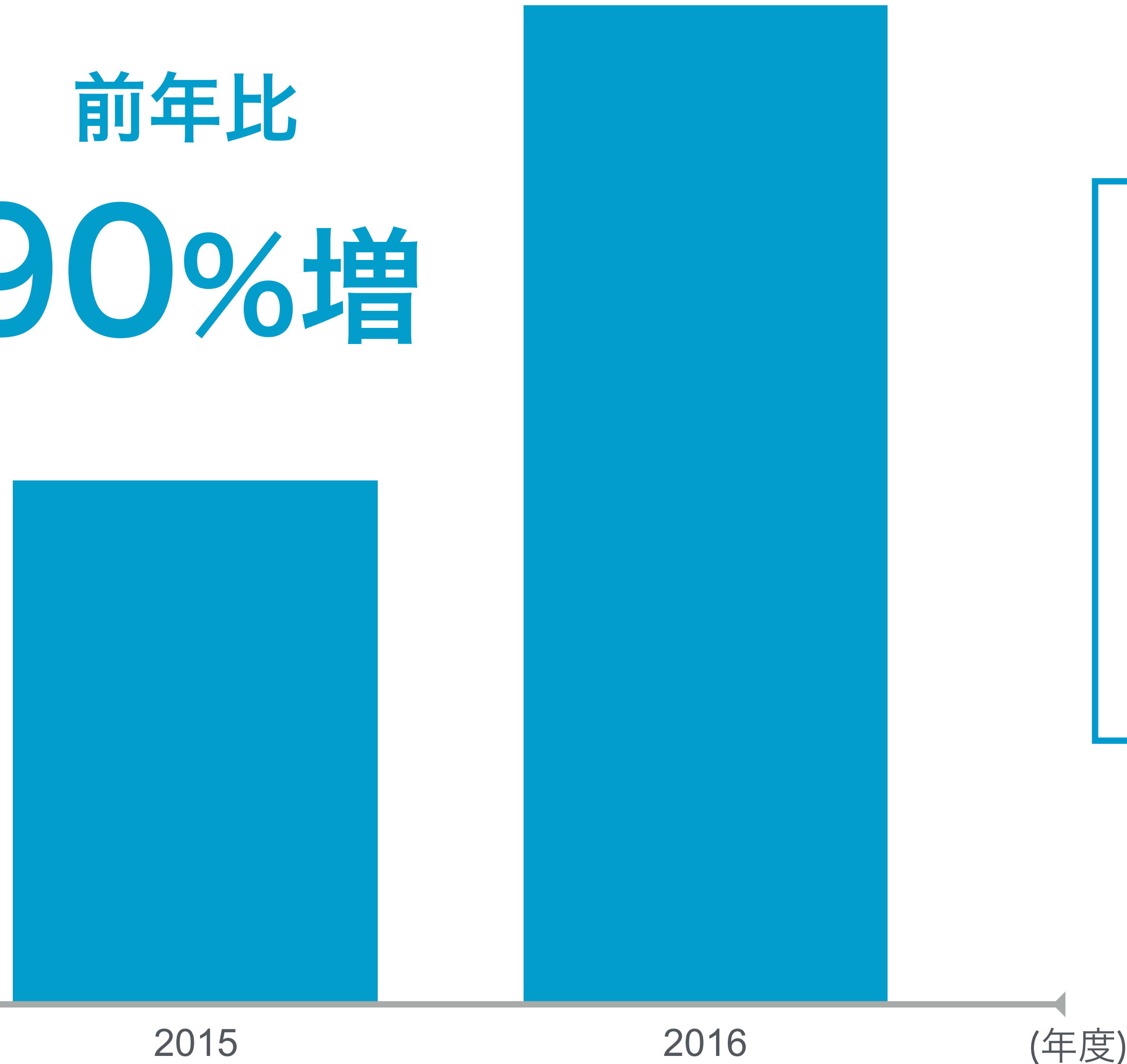
Non-GAAP

株式報酬費用/無形資産償却/
投資の再評価益等の一時損益を除く



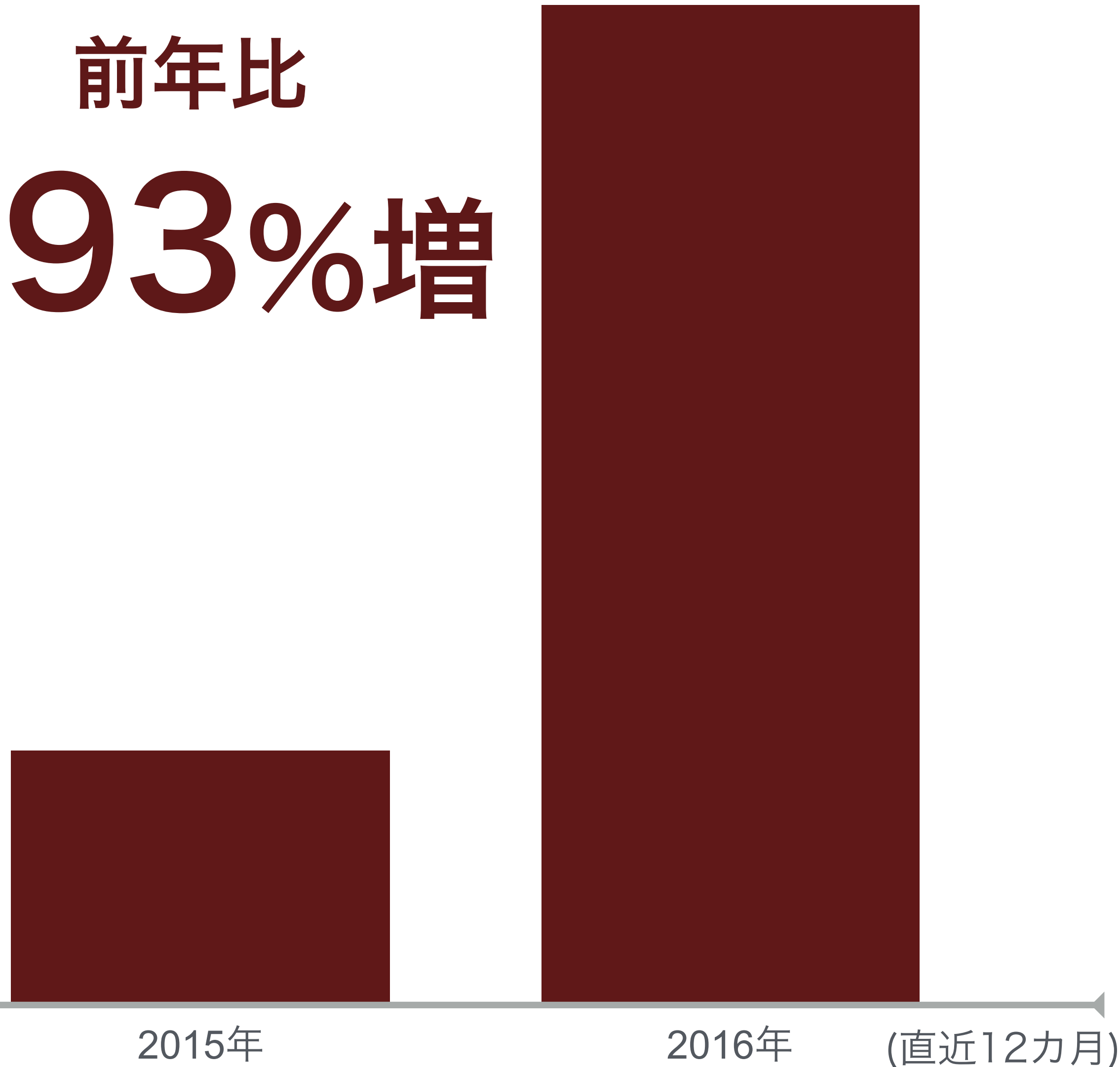
• 前期比22%増

前年比
90%増



- リピート率が向上
- サプライチェーン技術に投資
- デジタルウォレットが急成長

前年比
293%増



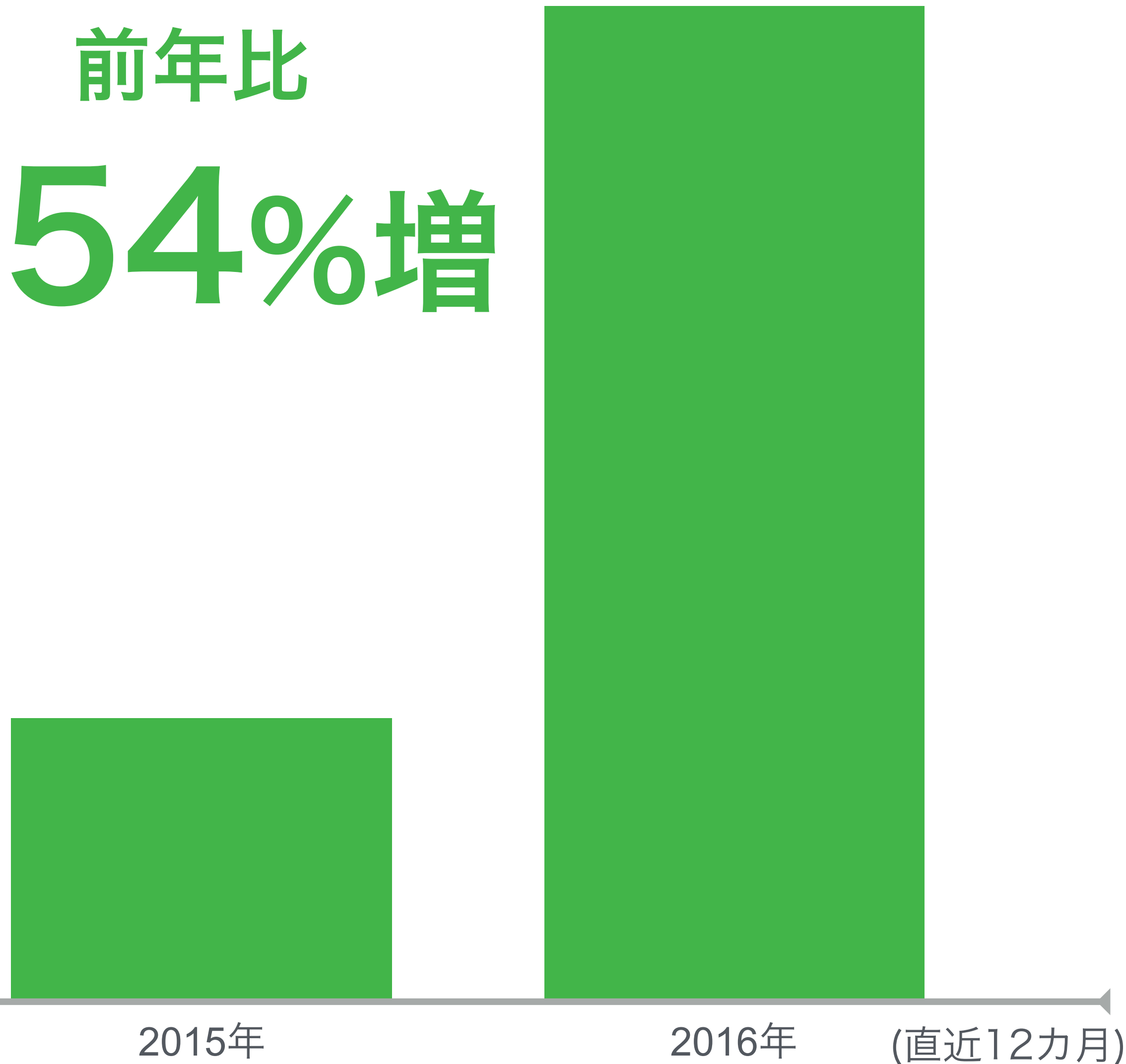
- ・ モバイルコマースで先行
- ・ 大規模配送センターが稼働 (2016年3月)

(注) 直近12カ月は、各年3月から遡った12カ月

リテール売上: 顧客の自宅まで商品を直接届ける宅配チーム「クーバン・マン」を含む、クーバンの受注・入金オペレーションシステムを経由し個別配達された商品からの売上。

前年比

254%増



- 最大のイーコマース市場
- 高い定着率 (買い手/売り手共に)
- デジタルマーケットプレイスを開始

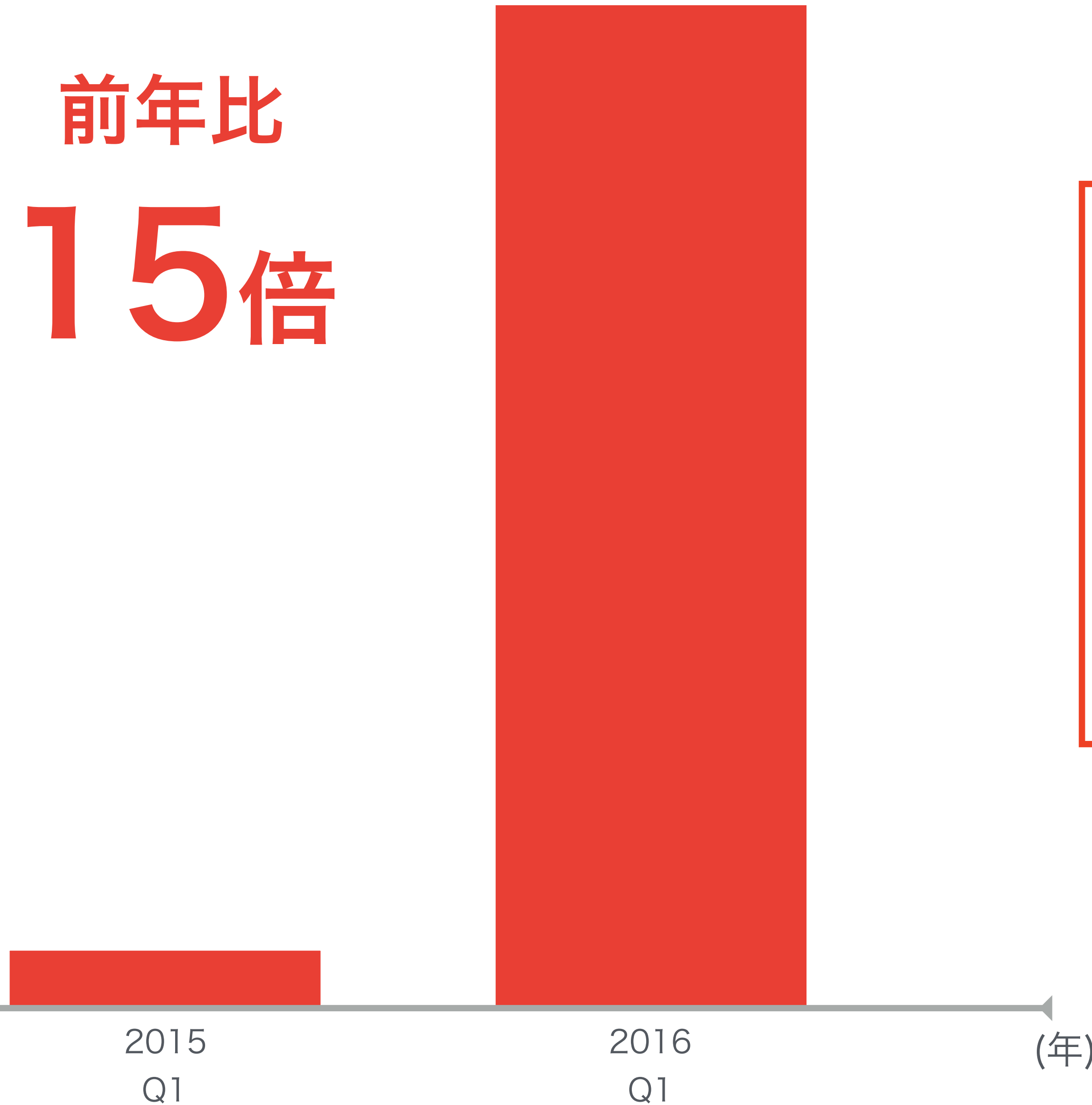
(注) 直近12カ月は、各年3月から遡った12カ月

デジタルマーケットプレイス：プリペイド携帯電話のオンラインチャージ、電車のオンラインチケット販売など

宿泊予約数 (日次)



前年比
15倍



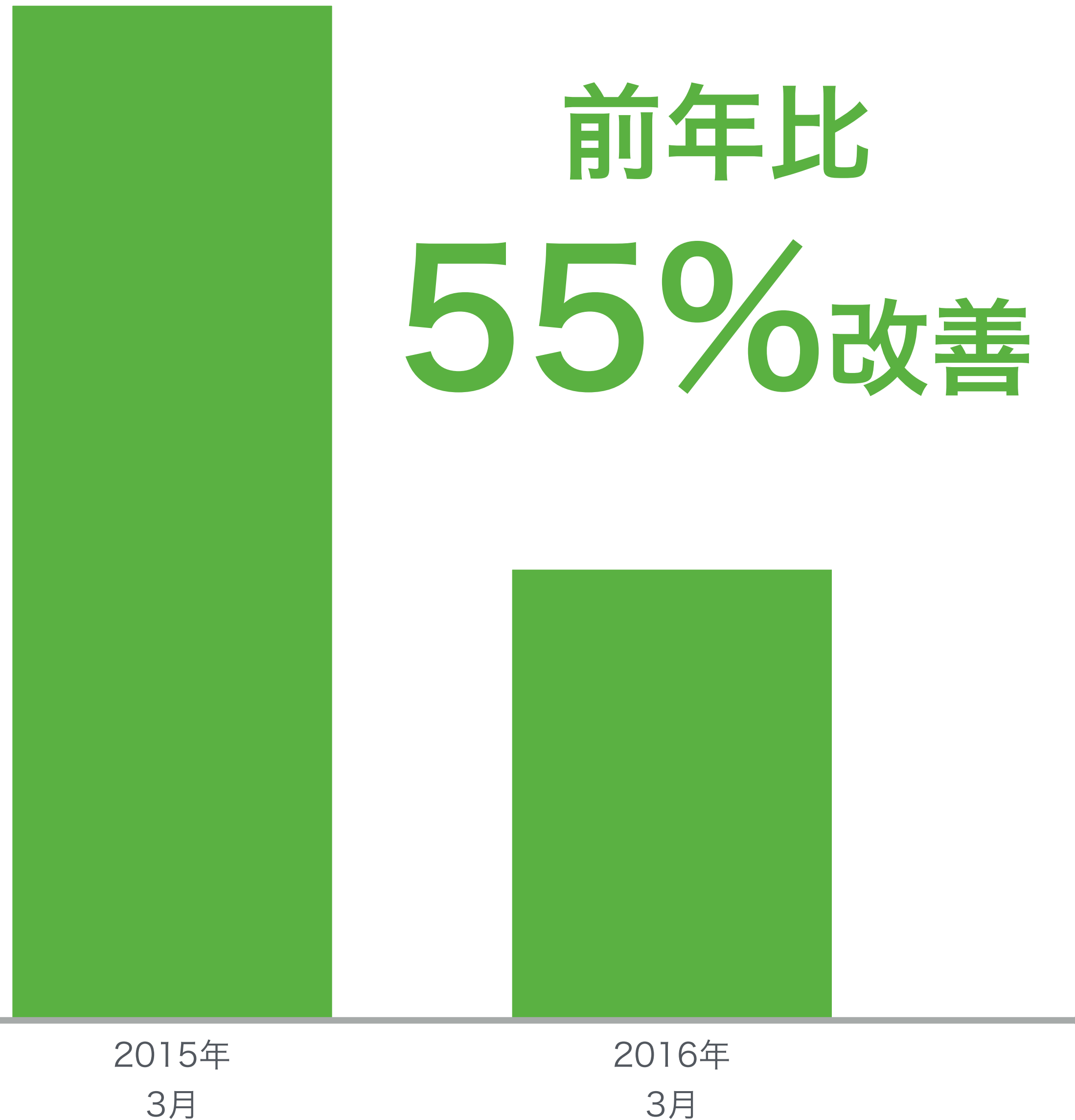
- 業界をリード
- 高い収益性
- 95%のトラフィックが自社サイト経由
- アクセスの50%がモバイルから

トランスポートেশヨン



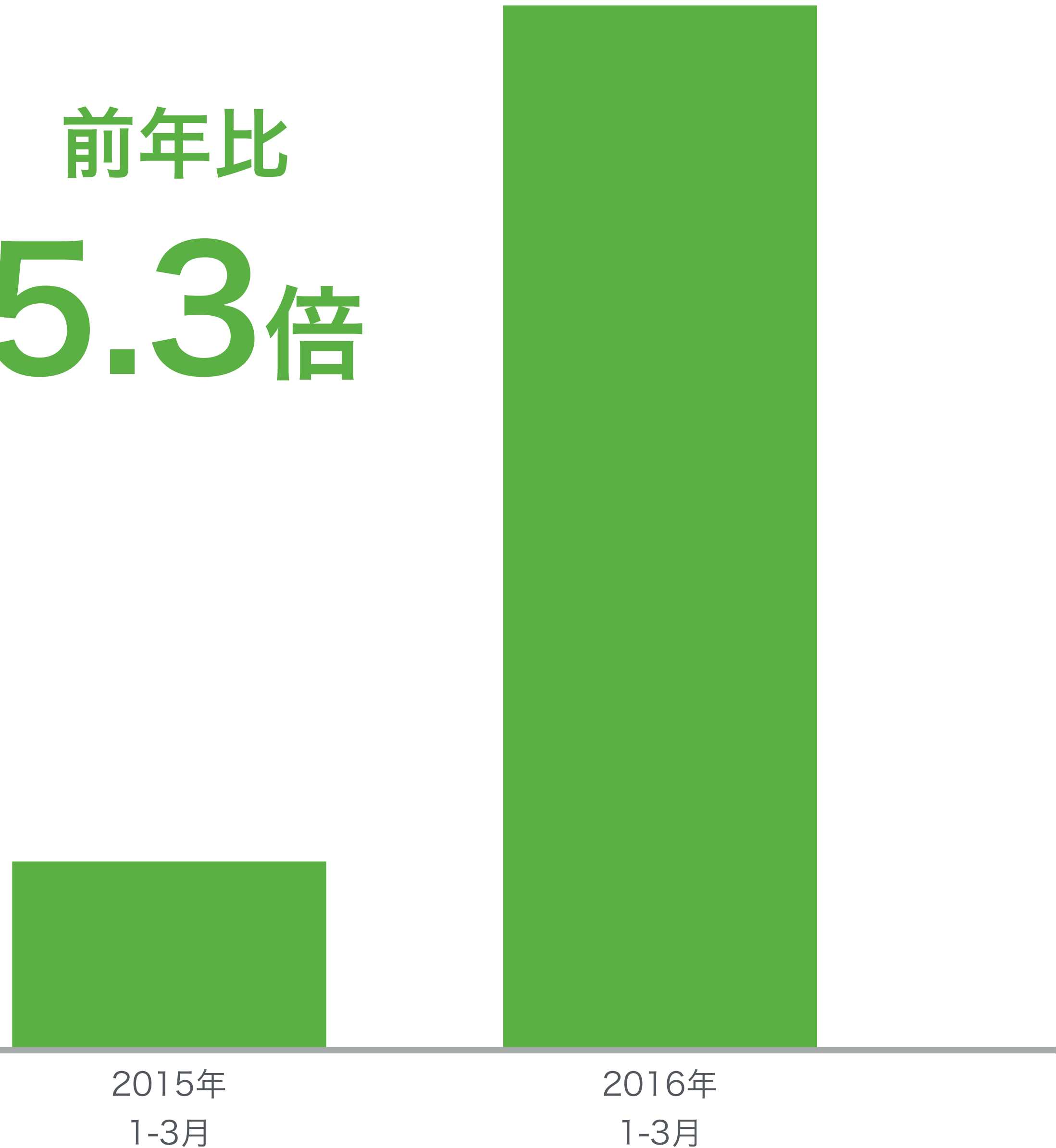


前年比
55%改善



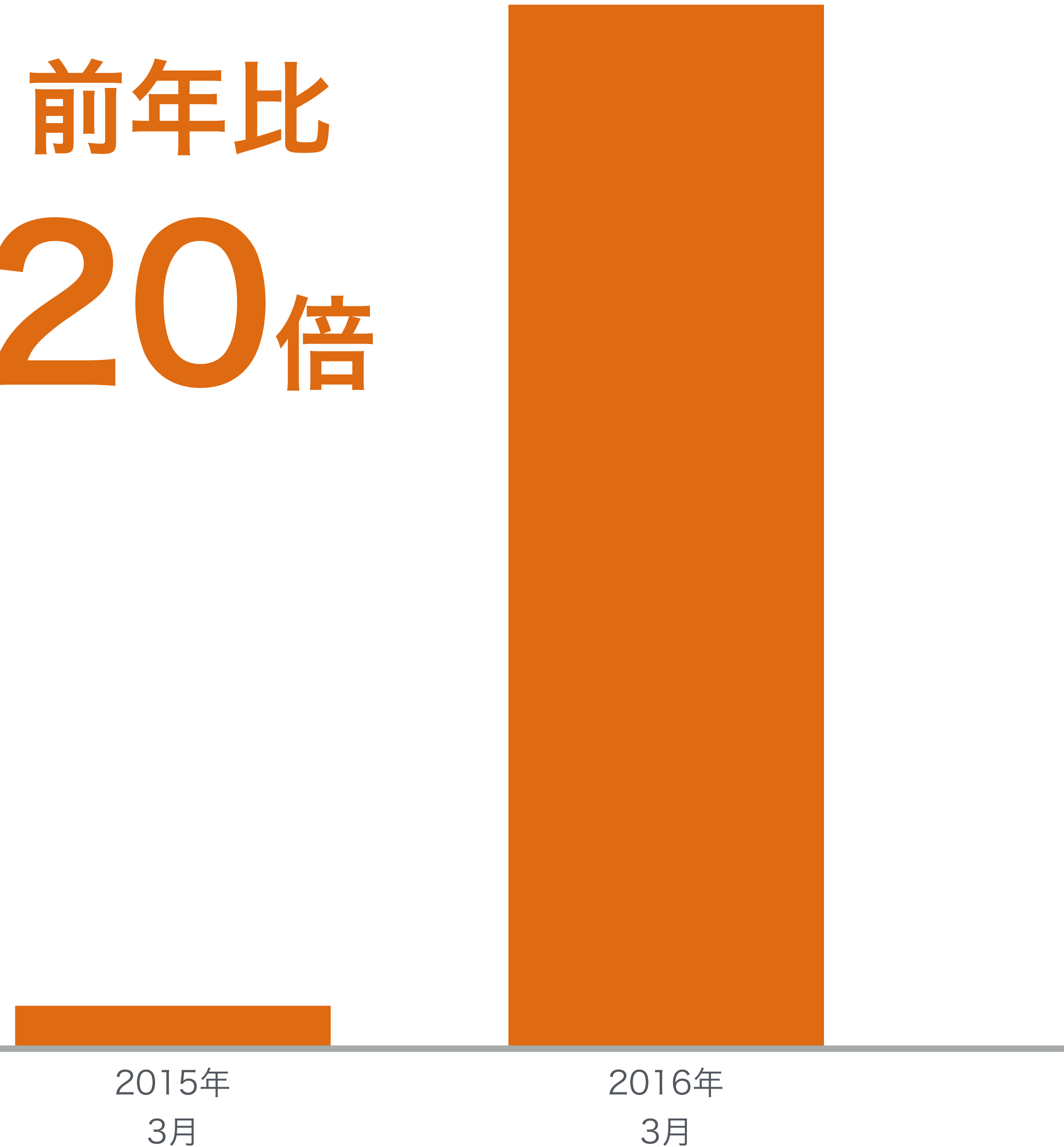
- インド最大
- 最多価格帯で高い存在感
- モディ首相が
Olaの電動三輪自動車を後押し

前年比
5.3倍



- マーケットシェアが拡大
- 様々なサービスにより優れた顧客体験を提供
- MAUが前年比5倍以上に増加

前年比
20倍



- 世界最大 (乗車数ベース)
- 中国で市場を牽引
- 多くの都市で黒字化 (300都市中230都市)

ゲーム&メディア





No.1



No.2



No.10

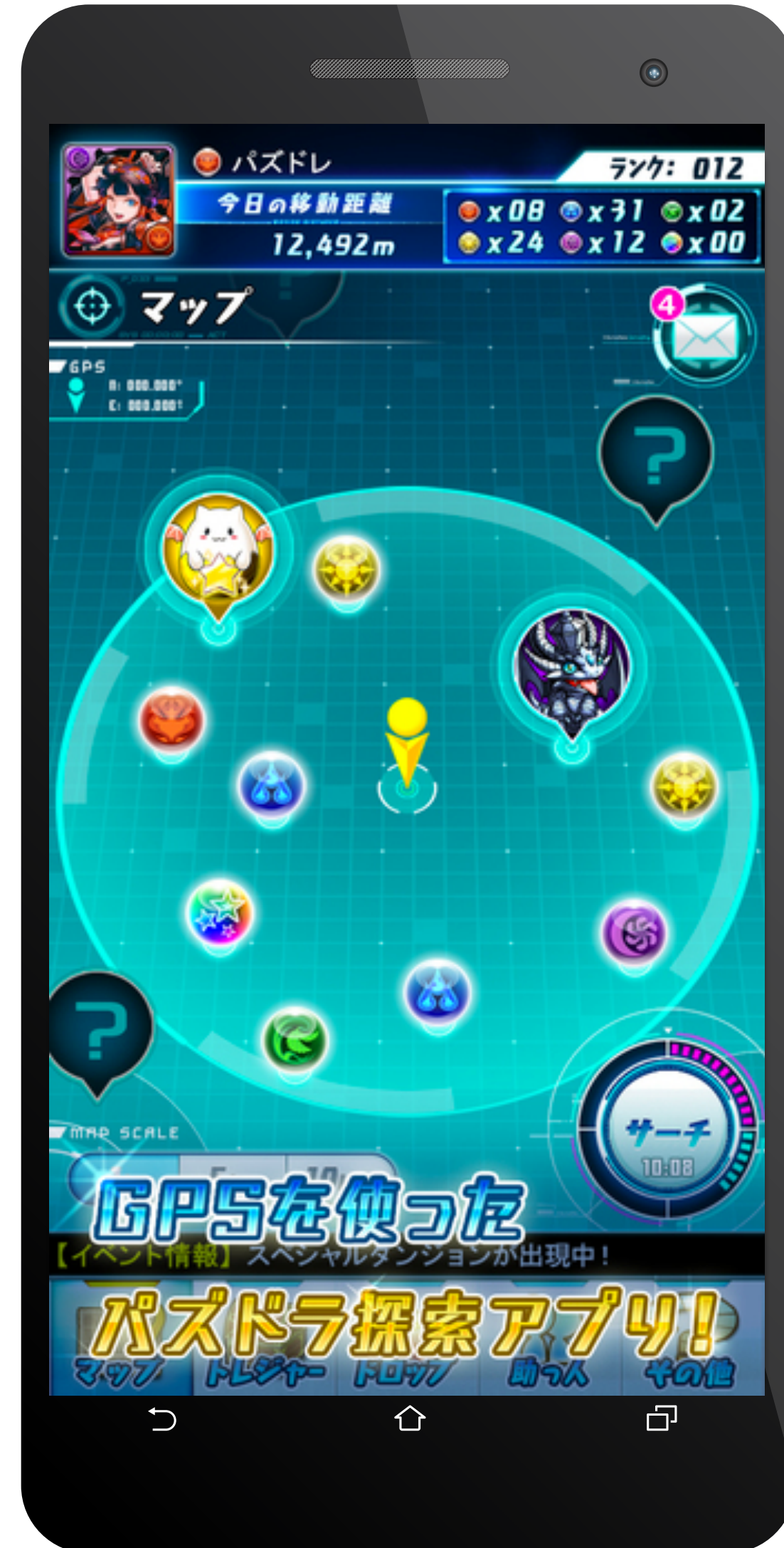
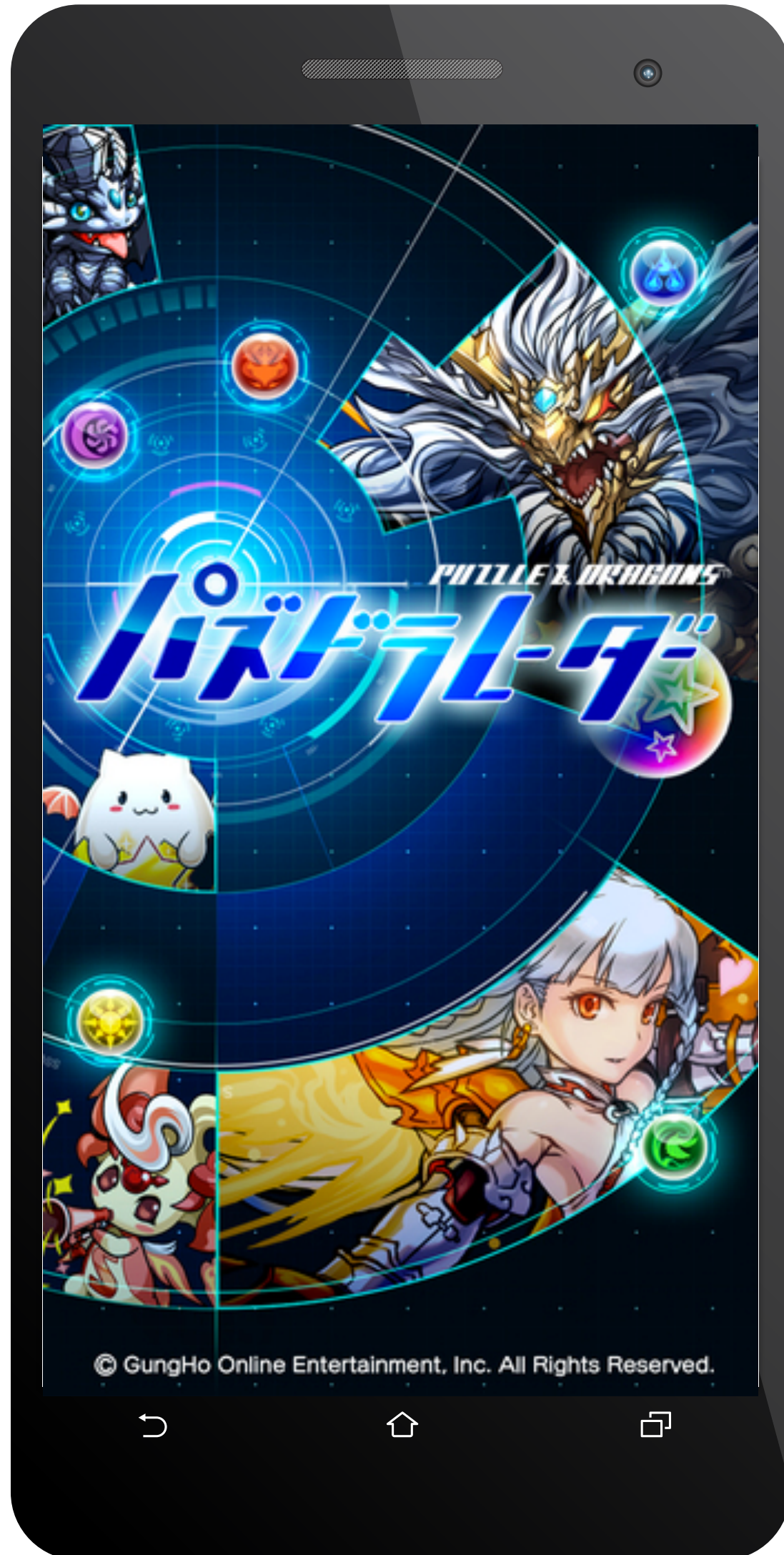


No.20

- 3つのゲームがトップ10入り

パズドラレーダー (3月17日~)

パズドラをテーマにしたトレジャー探索アプリ

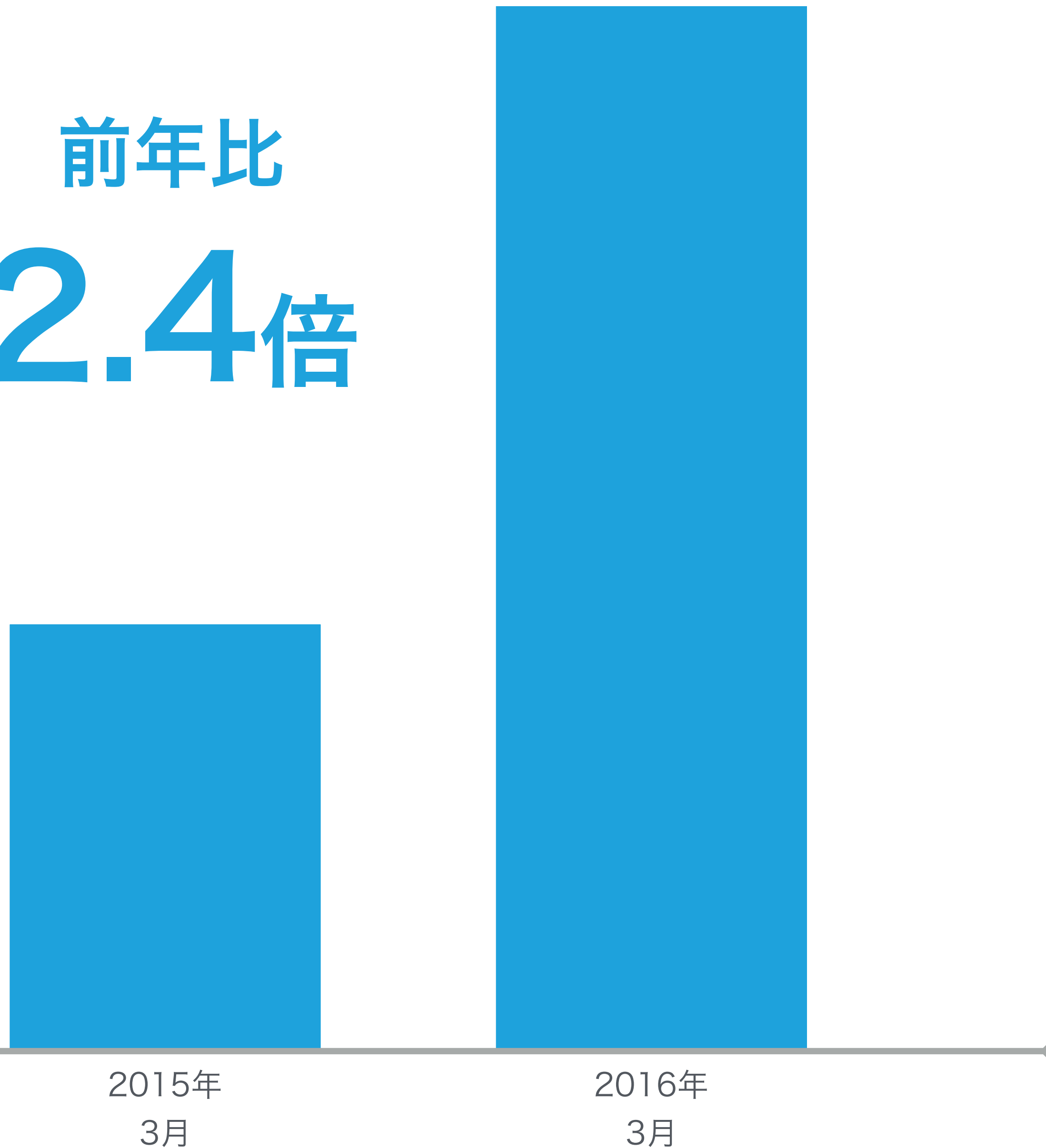


- 2日で100万件超のダウンロード

メッセージ数 (月次)



前年比
2.4倍



- 1億ユーザー突破
(インドのネット企業として初)
- 顧客から高い支持 (利用時間120分/週)
- ゲーム事業を開始：初月1億人以上が利用

フィンテック



前年比
3倍



- ローンの新規貸出が加速
- 信用力の高い13.5万の顧客基盤
- 資産管理サービスを開始

ポートフォリオ

事業資産

投資資産

1株当たり配当金

	2014年度	2015年度 (予定)	2016年度 (予定)
中間配当	20円	20円	22円
期末配当	20円	21円	22円
年間配当	40円	41円	44円

株主還元を強化

結論

1. 国内通信がFCFを創出
2. Sprint 反転戦略が進展
3. 投資戦略が順調に進捗

さらなる成長へ

 SoftBank
Group

1. IFRSの適用について

2013年度よりIFRS（国際会計基準）を適用しています。2012年度についてもIFRSに準拠して表示しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) : 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA(IFRS) : 売上高 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費 + 減価償却費及び償却費

EBITDA(日本基準) : 営業損益+減価償却費+のれん償却費

有利子負債(IFRS) : 借入金+社債+リース債務+割賦購入による未払金+コマーシャル・ペーパー+優先出資証券

有利子負債(日本基準) : 借入金+社債+コマーシャル・ペーパー。リース債務を含まず。

純有利子負債 : 有利子負債-手元流動性

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンクグループ株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。

本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。